

宮
崎
縣
地
誌

全

特31

382

026338-000-8

特31-382

宮崎県地誌

日吉 昇/編

M29

ADC-4124



宮崎縣地誌

緒言

一本書ハ、本縣小學校教則ノ趣旨ニ基キ、縣内地理ノ教科用書トシテ編纂セシモノナリ。

一本書ノ組織ハ、先ヅ發端ヲ置キ、第一編ニ各郡ノ地理ヲ説キ、第二編ニ於テハ、之ガ管内ノ概論ヲナセリ。故ニ教師ハ、先ヅ其學校近傍ノ地理ヲ授ケテ地理ノ素ヲ造レバ、直ニ此書ニ移リ、其學ブベキノ範圍ヲ知ラシメ、以テ漸次ニ各郡ノ地理ヲ説キ、各郡地理既ニ了レバ、更ニ之ヲ總括シテ、縣内地理ノ概念ヲ作り、且ツ日本地理ニ移ルノ楷梯トナサシメンコトヲ要ス。

一一郡内ノ地理ハ、可成的道路ノ順、旅行體、又ハ接近セル場所ニ續テ之ヲ説ケリ。一郡ヨリ他郡ニ移ルノ際モ、亦其連絡ニ注意シテ記述セリ。

宮崎縣地誌

緒言

一本書ハ、本縣小學校教則ノ趣旨ニ基キ、縣内地理ノ教科用書トシテ編纂セシモノナリ。

一本書ノ組織ハ、先ヅ發端ヲ置キ、第一編ニ各郡ノ地理ヲ説キ、第二編ニ於テ、之ガ管内ノ概論ヲナセリ。故ニ教師ハ、先ヅ其學校近傍ノ地理ヲ授ケテ地理ノ素ヲ造レバ、直ニ此書ニ移リ、其學ブベキノ範圍ヲ知ラシメ、以テ漸次ニ各郡ノ地理ヲ説キ、各郡地理既更ニ之ヲ總括シテ、縣内地理ノ概念ヲ作り、且ツ日本地理ニ移ルノ楷梯トナサシメントナ要ス。

一一郡内ノ地理ハ、可成的道路ノ順旅行體、又ハ接近セル場所ニ續テ之ヲ説ケリ。一郡ヨリ他郡ニ移ルノ際モ、亦其連絡ニ注意シテ記述セリ。



一各項目ヲ分テ記述セシハ、兒童ノ記憶ヲ整頓セシメンガ爲ナリ。然レモ、項目所記ノ事實ニ關係アルモノハ、別種ノ事ト雖モ、尙ホ其條下ニ並記セリ。即チ山ニハ山脈ノ連絡、川ニハ舟運ノ有無、港灣ニ於テ碇泊ノ便否、名邑ニ於テ特有物産及ビ城址ノ來歴等ヲ説クガ如シ。

一名邑ノ戸口ハ、其準市街地ノミノ數ヲ舉ゲ、町村全體ニ涉テ記載セズ。何トナレバ、彼此市街ノ大小ヲ比較スルハ、主トシテ準市街地ノ戸口ニ依ルノ至當ナルヲ思ヘバナリ。

一本書説ク所ノ場所ト關係ヲ保ツ事蹟、及ビ人物ノ性行等ノ概畧ヲ附記スルハ、之レ郷土史談トノ連絡ヲ保テ、益其記憶ヲ鞏固ナラシメンガ爲ナリ。

史談ニ關スル事柄ニシテ、未ダ確證ナキモノハ暫ク疑ヲ存シ、舊記或ハ口碑ノ傳フルマ、ヲ記ス、敢テ妄リニ私意ヲ以テ斷定ス

ルコトヲナサズ。

一地理ノ初步ニ於ケル、諸種ノ意義名稱ヲ本書ニ掲ゲザルハ、小學新地誌ニ此記述アルヲ以テナリ。又縣地理ハ兒童ノ目撃スル處ニ付學ブ所多ケレバ、必要ニ應ジ、山川港灣島嶼等、實地ニ之ヲ教エ、若シ實地ニ教エ難キ場合ハ、已知ノ智識ニ依リ、其觀念ヲ開發スベシ。何トナレバ、縣地理ハ兼テ亦是等地理上ノ智識ヲ與フルノ性質ヲ含メバナリ。

一本書稿ヲ起セシハ、實ニ明治二十四年八月ニアリ、爾來五年、或ハ之ヲ實地教授ニ照シテ程度ノ適否ヲ考ヘ、尙ホ三浦敏先生ニ數回ノ檢閲ヲ請ヒ、稿ヲ改ムルヲ十數回、漸ク茲ニ世ニ公ニスルニ至レリ。此間、先生ノ大ニ力ヲ添ヘラレシハ、予ノ深ク謝スル所ナリ。尙ホ中川友作氏、河野初二氏等ヨリモ、所々注意セラレ、爲メニ得ル所少カラズ。又挿畫ハ、梶原熊雄氏ノ描寫ニ係ル、乃チ亦氏ニ

向テ謝意ヲ表スル所以ナリ。
 一本書ハ、主トシテ實地ノ觀測ニ依リ、參考スルニ、管内地圖數種、平部先生著日向地誌、日向纂記、大槻氏著鹿兒島縣地誌要略、佐久間氏著宮崎縣地理小誌、及ヒ日向記、延陵世鑑等ヲ以テセリ。然レモ物産、町村、人口、里程等ノ如キ實測ニ關スルモノハ、明治二十六年宮崎縣統計書ニ據レリ。其中或ハ官衙ニ就キ、先輩知人ニ質シ、專ラ事實ノ正確ヲ期セリ。然レモ予ノ淺學寡聞、誤謬遺漏ナキヲ保セズ、幸ニ識者ノ是正ヲ仰グ。

明治二十八年清國講和條約批准後三日

編者識

宮崎縣地誌

目次

發端

第一編 郡誌

宮崎郡

南那珂郡

北諸縣郡

西諸縣郡

東諸縣郡

兒湯郡

東白杵郡

西白杵郡

第二編 縣誌

概論

沿革

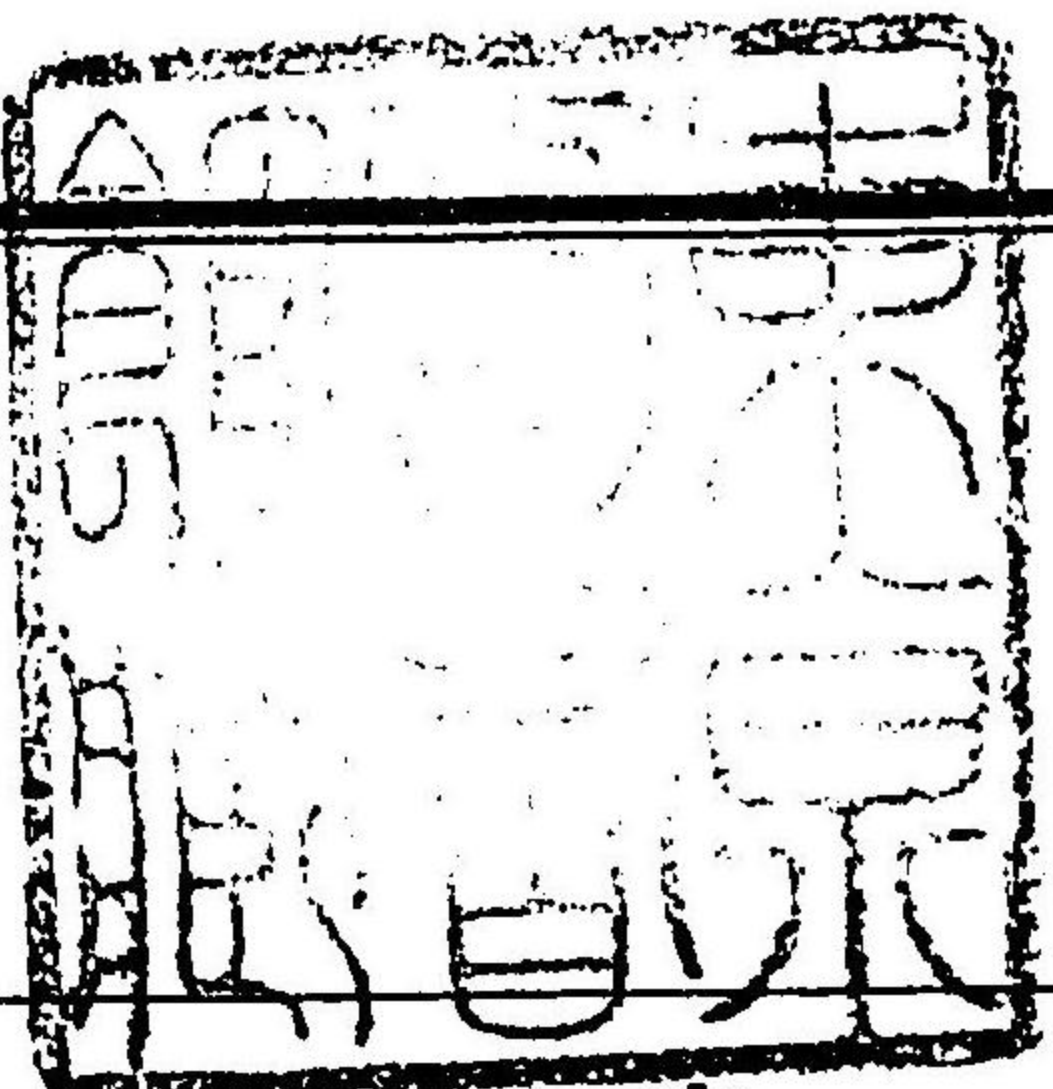
附錄

宮崎縣地誌

日吉昇編

發端

宮崎縣ハ、東ハ海ニムカヒ、西ハ熊本縣ニツラナ
 リ、南ハ鹿兒島縣ニ接シ、北ハ大分縣ニサカヒス、
 スベテ八郡アリ、宮崎、南那珂、北諸縣、西諸縣、東諸
 縣、兒湯、東白杵、西白杵コレナリ。今ソノ各郡ノ
 地理ヲ、左ニ説カン。



第一編 郡誌

宮崎郡

境界

東ハ海ニムカヒ、北ハ兒湯郡ニサカヒシ、西ハ東諸縣郡ニツラナリ、西南ハ北諸縣、及ビ南那珂ノ兩郡ニ接シ、東ハ海ニムカヘリ。

地勢

地勢オホム子平坦ニシテ、南方南那珂郡ニ接スル所、ワヅカニ山脈相ツラナレリ。田園村落ハ、中央以北ニ多シ。コノ沿海ノ地味ハ、柑橘類ノ栽培ニ適セリ。

山

鰐塚山ハ、本郡ト、北諸縣、南那珂、兩郡トノサカヒニ立テリ。

ボロ石山ハ、郡ノ南方ニ立チ、ソノ脈東ニ走リ、戸崎鼻トナル。

川

一瀬川ハ、源ヲ西臼杵郡ノ椎葉山ヨリ發シ、兒湯郡ヨリ來ル三納川ヲアハセ、本郡ノ北ヲ東流シテ、兒湯郡トノ境ヲナシ、日向灘ニソ、グ。全長二十里餘、舟運七里ナリ。

石崎川ハ、源ヲ東諸縣郡ノ山中ヨリ發シ、東ニ流

レ、廣瀬ヲ過ギテ海ニ入ル。
 大淀川ハ、縣内第一ノ大河ナリ。源ヲ鹿兒島縣大隅國嚙啖郡ニ發シ、北諸縣郡ヲスギ、西諸縣郡ヨリ來ル岩瀬川ト相會シ、高岡ヲ經、綾川ト合ヒ、東南ニ折レ、マタ東ニナガレテ、海ニ入ル。全長二十二里餘、舟運凡ソ八里アリ。宮崎ニ於テ、コノ河ニ架スル橋ヲ、橘橋ト云ヒ、長サ二百餘間、幅三間餘アリ。即チ古ヘ橋ノ小門ト稱セシハ、コノ地ナリト云フ。

清武川ハ、下流ヲ木崎川ト云フ。源ヲ田野村ニ發シ、清武ヲ過ギ、東ニナガレテ、海ニ入ル。

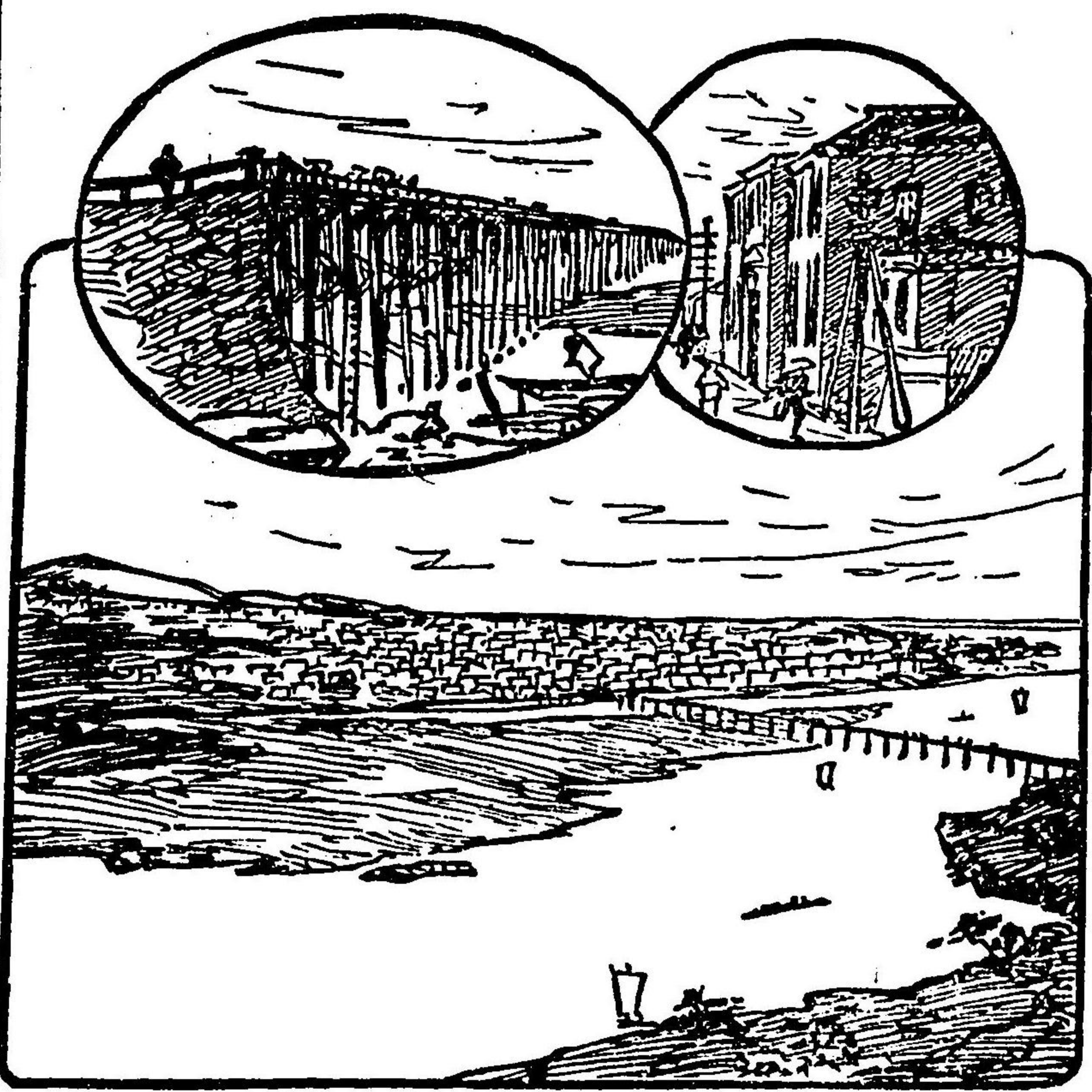
清武ハ、安井息軒ノ出デシ所ナリ。息軒、幼ニシテ學ヲコノミ、大阪江戸等ニ遊ビ、ノチ藩主伊東氏ノ侍講タリ。ソノノチ江戸ニウツリ、子弟ヲ教育シ、ソノ名一世ニタカシ。

加江田川ハ、源ヲボロ石山ノ麓ヨリ發シ、北ニナガレ、更ニ東流シテ海ニ入ル。

宮崎ハ、本縣第一ノ都會ナリ。維新前ハ延岡藩ニ

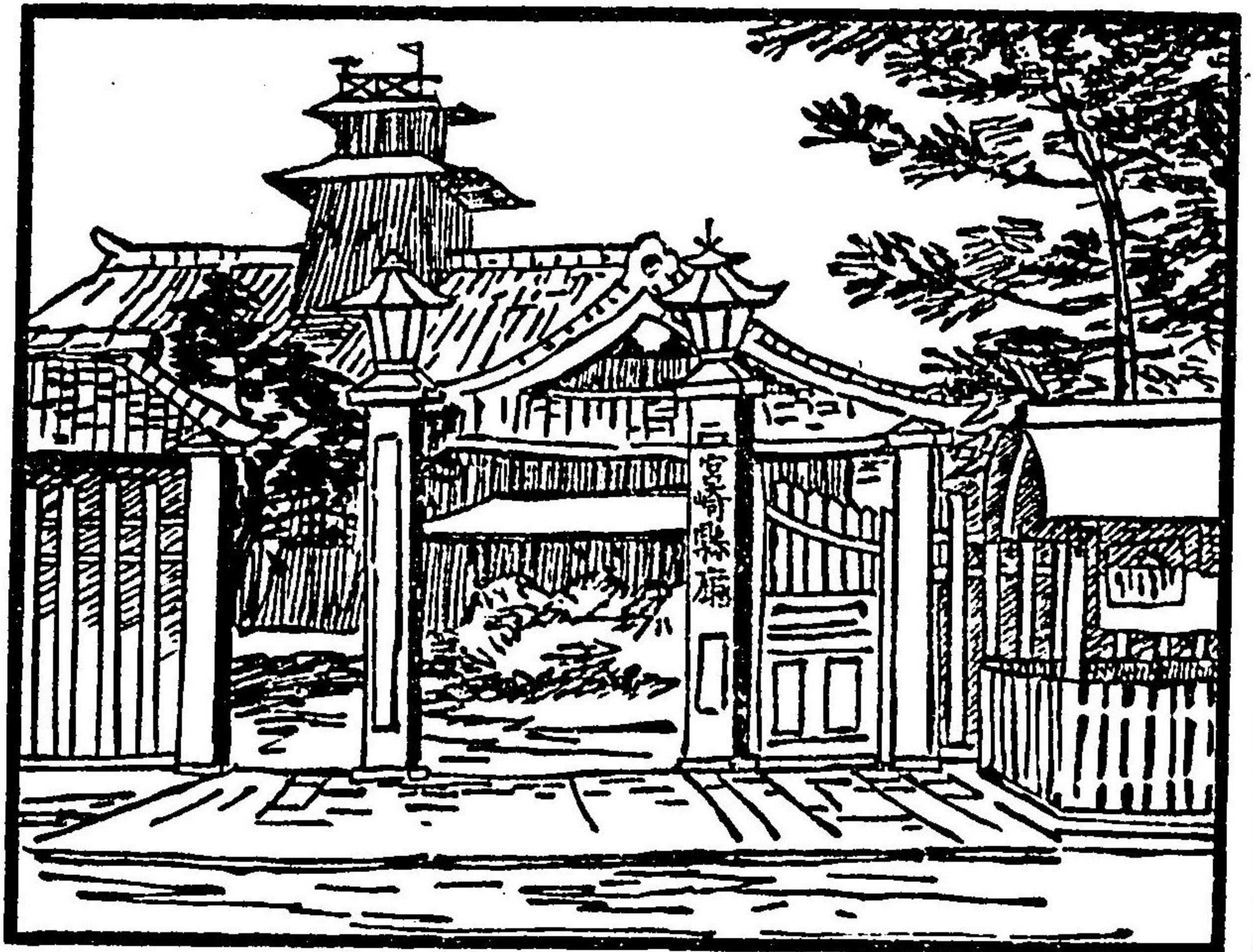
名邑

大淀村ノ丘上ヨリ宮崎市街ヲ望ム



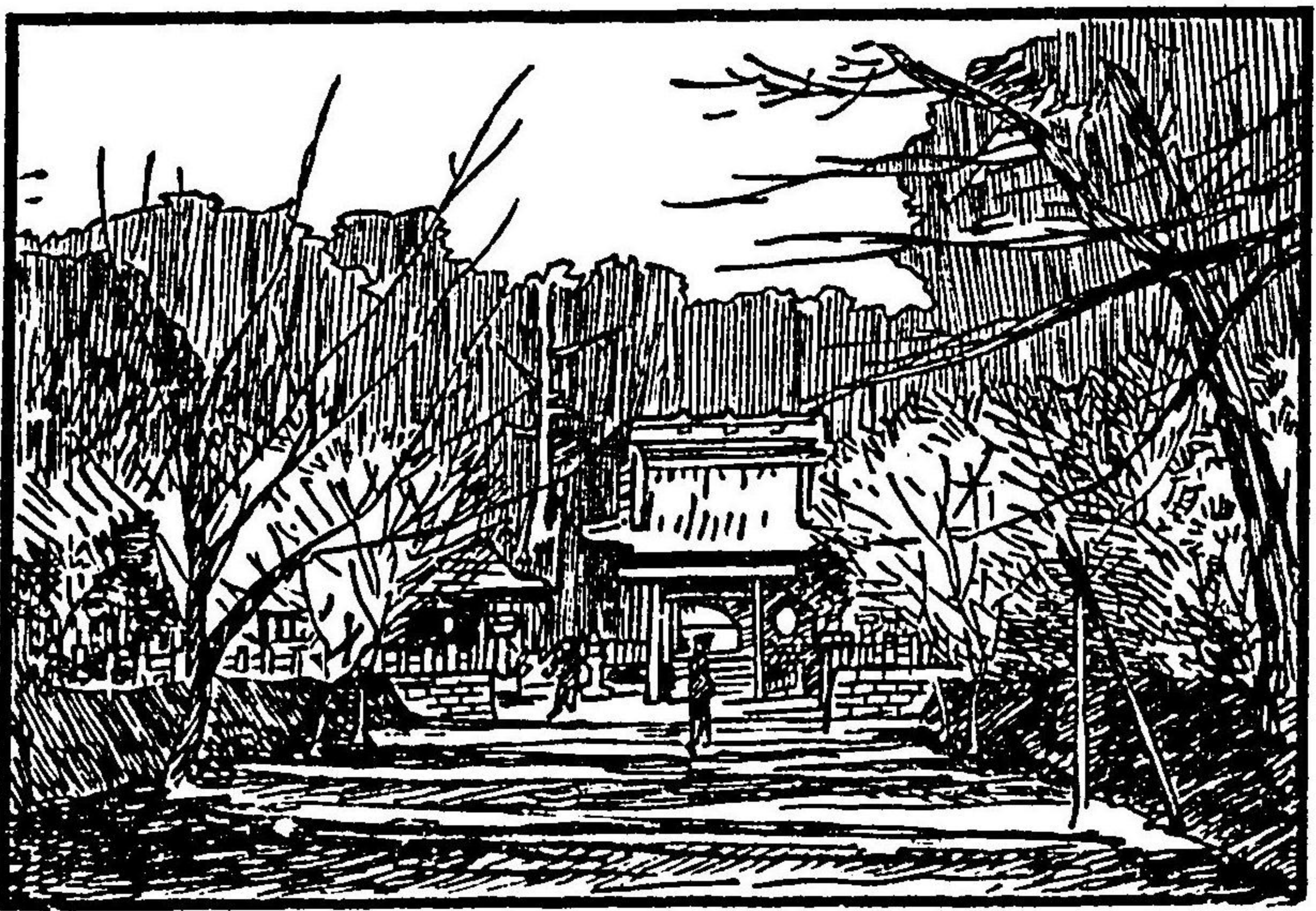
屬シ、サビシキ驛邑ナリシモ、漸々繁昌ニオモム
 キ、今ハ縣廳ノ所在地タリ。大淀川ソノ南ヲナガ
 レ、北ヲ宮崎町トシ、南ハ大淀村ト稱シ、中村町ア
 リ〔中村町ハ舊時、アハセテ戶數凡ソ二千三百、人口
 幕領ニ屬セリ〕凡ソ一萬餘、地方裁判所、警察部、郡役所〔本郡ヲ
 管ス〕、監
 獄署、郵便電信局、測候所、物品陳列場、縣會議場、銀
 行〔第百四十七國、立銀行支店〕、新聞社〔共ニ宮崎
 町ニアリ〕、尋常師範學校、尋
 常中學校〔共ニ大宮村ニアリ〕等アリ。ソノ電信線ハ、高鍋、高岡、
 飢肥ノ各地ニ通ズ。マタ製絲傳習所アリ、蒸氣機

關ヲ用ウ。コ
 ノ地ノ産物ハ、
 米ヲ第一トス。
 宮崎宮ハ、大宮
 村ニアリ、天健
 磐龍命ノタテ
 ラレシ古社ナ
 リト云フ。官幣
 大社ニシテ、神



最前ノ縣縣宮

武天皇ヲマツル。
 四時參拜ノ人、絶
 ユルコトナシ。
 宮ノ西北ナル古
 市ハ、ムカシ、神武
 天皇ノ都シタマ
 ヒシ宮址ナリト
 云ヘリ。
 コノ地方ニハ、上



最前ノ宮崎宮

古ノ陵墓各所ニ散在シ、マタ往々、古代ノ器具ヲ掘リ出スコトアリ。
生目村ナル生目神社ハ、景清ノ靈ヲマツレル所ナリ。

檉村ナル江田神社ハ、日向式内四座ノ一ニシテ、底筒男命、中筒男命、上筒男命ノ三神ヲマツレリ。

宮崎ヨリ北ニ通ズルモノハ、大分街道〔道國〕ニシテ、西ニ至ルモノヲ、鹿兒島街道〔道國〕トシ、本庄道〔道縣〕ハソノ北ニアリ。南ニ通ズル線ハ、飢肥街道

〔道縣〕ニシテ、右ニ分ル、モノハ都城ノ舊國道ナリ。ソノ東ニ至ルモノヲ折生迫道〔道里〕トス。

佐土原ハ、宮崎ヲサル四里餘、舊時佐土原藩ノアリシ所ニシテ、人口二千許アル名邑ナリ。佐土原城址ハ、町ノ西方ニアリ、天文五年、伊東義祐、コノ城ニアリ、ソノノチ沿革一ナラズ。慶長八年、島津以久城主トナリテヨリ、世々相ツタヘ、明治三年、忠寛、廣瀬ニウツルニ及ンデ、廢毀セリ。

佐土原ヨリ穗北川ニ沿ヒ、西北ニ通ズルモノ

ハ、妻尾泊村所等ヲ經テ、熊本縣人吉ニ至ルノ道ニシテ、縣界マデ凡ソ十七里、米良通ト稱シ、實ニ山間ノ難路タリ。

廣瀬ハ、佐土原ノ東一里二十八町、宮崎ヲサル三里十一町、大分街道ノ要路ニ當レリ。明治三年、佐土原藩主島津忠寛、居城ヲコノ地ニウツセシトキ、ハジメテヒラキシ所ナリ。

國道ハ、廣瀬ヨリ北行シ、一瀬川ヲ渡レバ、兒湯郡ナリ。

勝地

本郡、東方一帯ノ地ニハ、久峰、住吉、一葉等ノ勝地アリ。

青島ハ、折生迫ノ東北七八町ニアル、一帯ノ砂路ヲ以テ、相通ズル半島ナリ。満潮ノトキハ、海水、砂路ヲ



折生迫海岸ヨリ青島ヲ望ム

港

絶チテ島トナル。島中、枇榔樹多ク、中ニ廟アリ、彦火々出見尊、豊玉姫命、塩土翁ヲ合セマツル。四時、参拜ノ人絶ユルコトナシ。

赤江港ハ、大淀川ノ河口ニシテ、港口東ニムカヒ、港内泥砂ウヅモリ、大船ヲ泊スルコト能ハズ。

宮崎ヨリ、折生迫道ヲ南ニムカヘバ、四里餘ニシテ折生迫港アリ。

折生迫港ハ、青島ソノ東北ニヨコタハリ、戸崎鼻、東南ニツキ出デ、港口東ニムカヒ、方凡ソ八町、常ニ船舶ヲ入ル、ト雖モ、港内水アサク、且ツ港前

ニ暗礁アルヲ以テ、大船ヲ入ル、コト能ハズ。港ノ西方ニ鑛泉アリ。

内海港ハ、折生迫ノ南一里餘、ソノ間一小丘ヲヘダテ、ソノ脈延テ岬ヲナシ、大八重鼻ト相對シ、港口南ニムカヒ、稍良港ナレドモ、行通不便ナレバ、港内ツ子ニ寂寞タリ。

内海ヨリ、南ニス、ミ、大八重鼻ヲ越ユレバ、南那珂郡ニ入ル。

境界

南那珂郡

東南ハ海ニムカヒ、北ハ宮崎郡ニ接シ、西ハ北諸縣郡、及ビ鹿兒島縣大隅國ニツラナレリ。

地勢

本郡ハ、縣下極南ノ一角ヲナセル地ニシテ、山多ク、酒谷、福島、兩河畔ノ地、ワヅカニ平坦ニシテ、村落モマタオホム子ソノ間ニアリ。地味營林ニ適シ、海ニ沿ヘルノ地ハ、マタ柑橘類ノ栽培ニヨロシ。

山、岬

小松山ハ、高ク郡ノ西北部ニソビエ、ソノ脈南ニ亘リテ、鳥居岬トナリ、鵜戸崎ニ終ル。

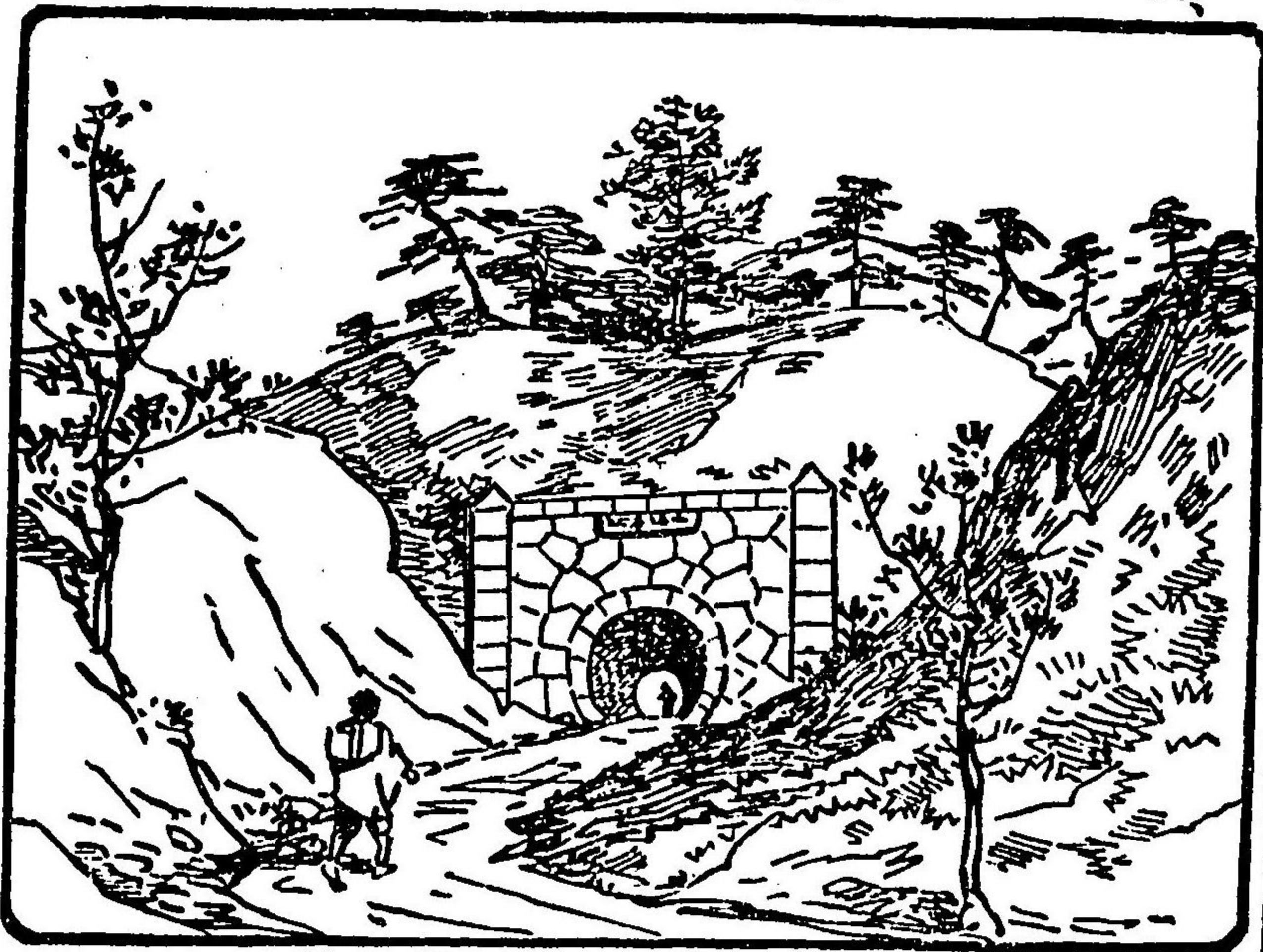
川

牛ノ峠ハ、西方ニ立ち、山脈マタ南ニ走り、鈴ヶ峯、鯛取山、高畑山等トナリ、ソノ端、海中ニツキ出ヅル一里許、コレヲ都井岬トス。永田崎ハ、ソノ西ニツキ出ヅル岬ナリ。

酒谷川ハ、牛ノ峠ヨリ出デ、東ニ流レ、飢肥ヲ過ギ、鰐塚山ノ麓ヨリ來ル東川ト相會シ、海ニ入ル。福島川ハ、鈴ヶ峰ヨリ流レ來リ、福島ヲ過ギテ、海ニ入ル。

宮崎ヨリ、本郡ニ通ズル街道ハ、清武ヲ經テ、飢肥ニ達ス。ソノ途中ナル、山假屋ニハ、隧道アリ、

長サ三十間許、
 鍊瓦ヲ以テコ
 レヲタ、ム。
 別路、折生迫、鶴
 戸ノ海岸ヲ經
 テ、通ズルモノ
 アリ。
 飢肥ハ、宮崎ヲサ
 ル十三里餘、モト
 飢肥藩ノアリシ



山假屋ノ院道

所ナリ。區裁判所、郡役所〔本郡ヲ管ス〕、警察署、郵便電信
 局、銀行〔共ニ飢肥村ニアリ〕等アリ。ソノ電信線ハ、宮崎ニ通ズ。
 人口二千八百餘、酒谷川ニノゾミ、稍繁華ノ名邑
 ナリ。コノ地ノ製絲場ハ、本縣ニ於テ、最モハヤク
 タテシモノニシテ、亦蒸氣機關ヲ用ウ。産物ハ、
 砂糖、織物等トシ、マタ少シク干柿ヲ出ス。飢肥
 城趾ハ、町ノ西北隅ニアリ。島津氏ノ支配以來、城
 主ノ沿革一ナラズトイヘドモ、天正十五年、伊東
 祐兵、コノ城ニ封ゼラレ、十四世相ツタヘテ、明治
 維新ニ至レリ。

田中國廣、井上眞改等ハ、伊東氏ニ仕ヘシ、有名ノ刀工ニシテ、ソノツクリシ所ノ刀劍、世ニ多シ。彼ノ落合雙石、平部崎南等ノ儒者モ、亦コノ地ノ人ナリ。

中ノ尾、鬼ヶ城等ハ、天文、永祿ノコロ、島津、伊東、二氏ノ古戰場ナリ。

飢肥ノ東方一面ハ、開豁ニシテ、田園相交ハリ、ソノ間一線ノ平路、一里二十七町ニシテ、油津ニ達ス。コノ路ノ中央ヨリ、更ニ南方ニ通ズルモノハ、外ノ浦道ナリ、飢肥ヨリ四里餘、マタ

港

オホム子平坦ナリ。

更ニ、飢肥ヨリ南ニス、メバ、七里餘ノ山路ヲ經テ、福島ニ出デン。

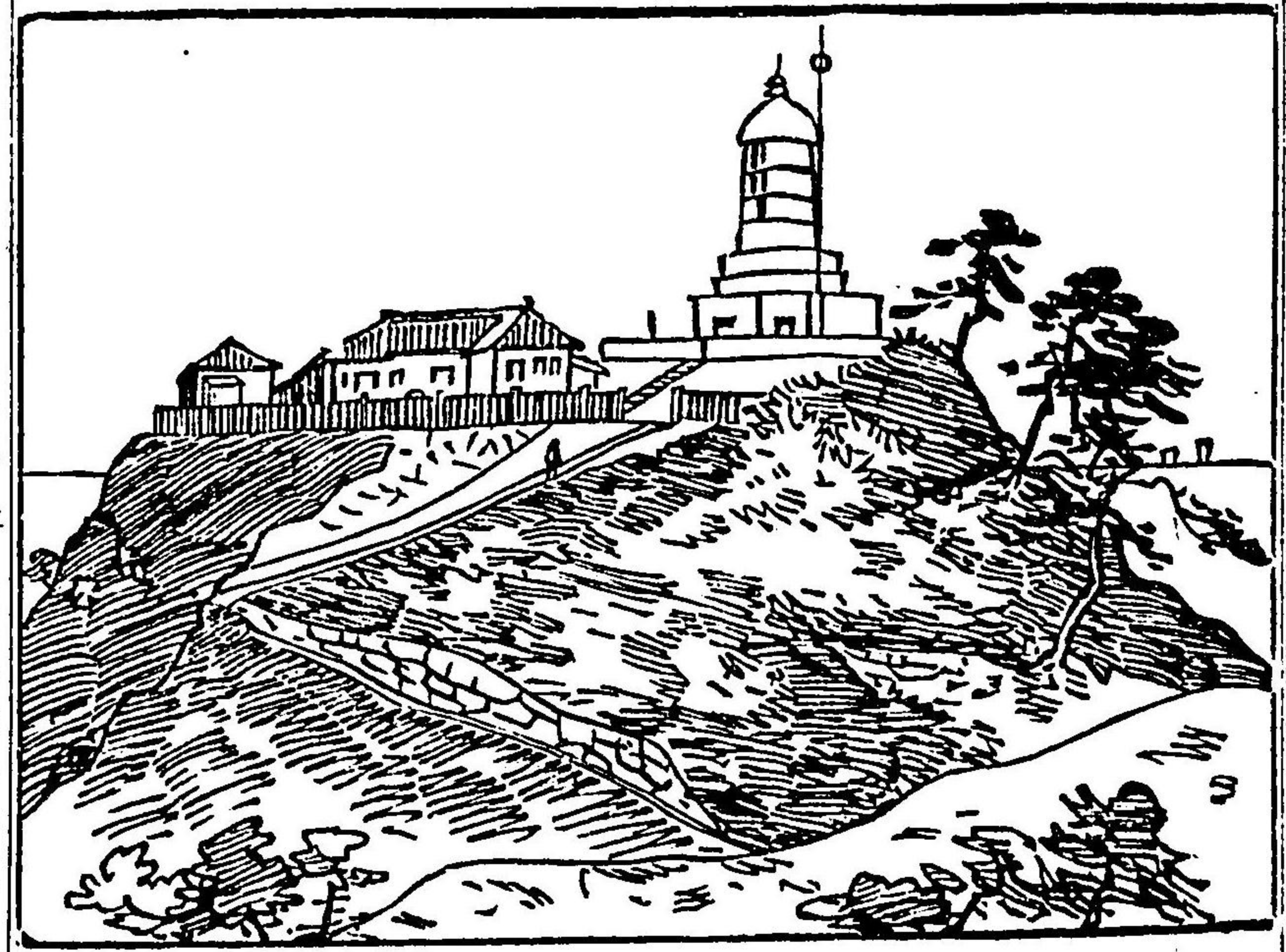
福島ハ、マタ櫛間トモ云フ。福島川ヲ帶ビ、本縣最南端ニアル名邑ニシテ、警察分署アリ。維新前ハ、高鍋藩ニ屬セリ。今町港ハ、ソノ口南ニムカヒ、水深ク、港内方凡ソ十町、南方ノ一良港ニシテ、多少ノ船舶、常ニ相アツマレリ。コノ地方ハ、馬ノ產地ナリ。福島ノ西ナル、高松ニハ、石炭ヲ出ス。

福島ヨリ二里餘ニシテ、鹿兒島縣大隅國ニ入

ル。宮崎ヨリ、全程凡ソ二十里餘アリ。
 外ノ浦ハ、有名ナル良港ニシテ、港口東南ニムカ
 ヒ、港内廣クシテ、東西二十町、南北八町アリ。然レ
 ドモ、陸路ノ交通不便ナレバ、港内常ニ寂寞タリ。
 油津港ハ、港口東南ニムカヒ、水量甚ダ深カラズ
 トイヘドモ、港内稍廣クシテ、大船ヲ入ル、コト
 チ得ベシ。コノ港ハ、大阪神戸ヨリノ汽船ノ出入
 アレバ、飢肥地方ノ産物、多クハコノ港ヨリツミ
 出セリ。人口二千五百餘、市街稍ニギハヘリ。コ
 ノ地ヨリハ、精良ノ鱈節ヲ出ス。

島

大島ハ、油津ノ
 南三里ニアリ。
 周回二里餘、ソ
 ノ東端ナル鞍
 崎ニ、燈臺アリ。
 海面ヲ拔クコ
 ト二十八丈七
 尺、明治十七年
 七月タツル所
 ナリ。



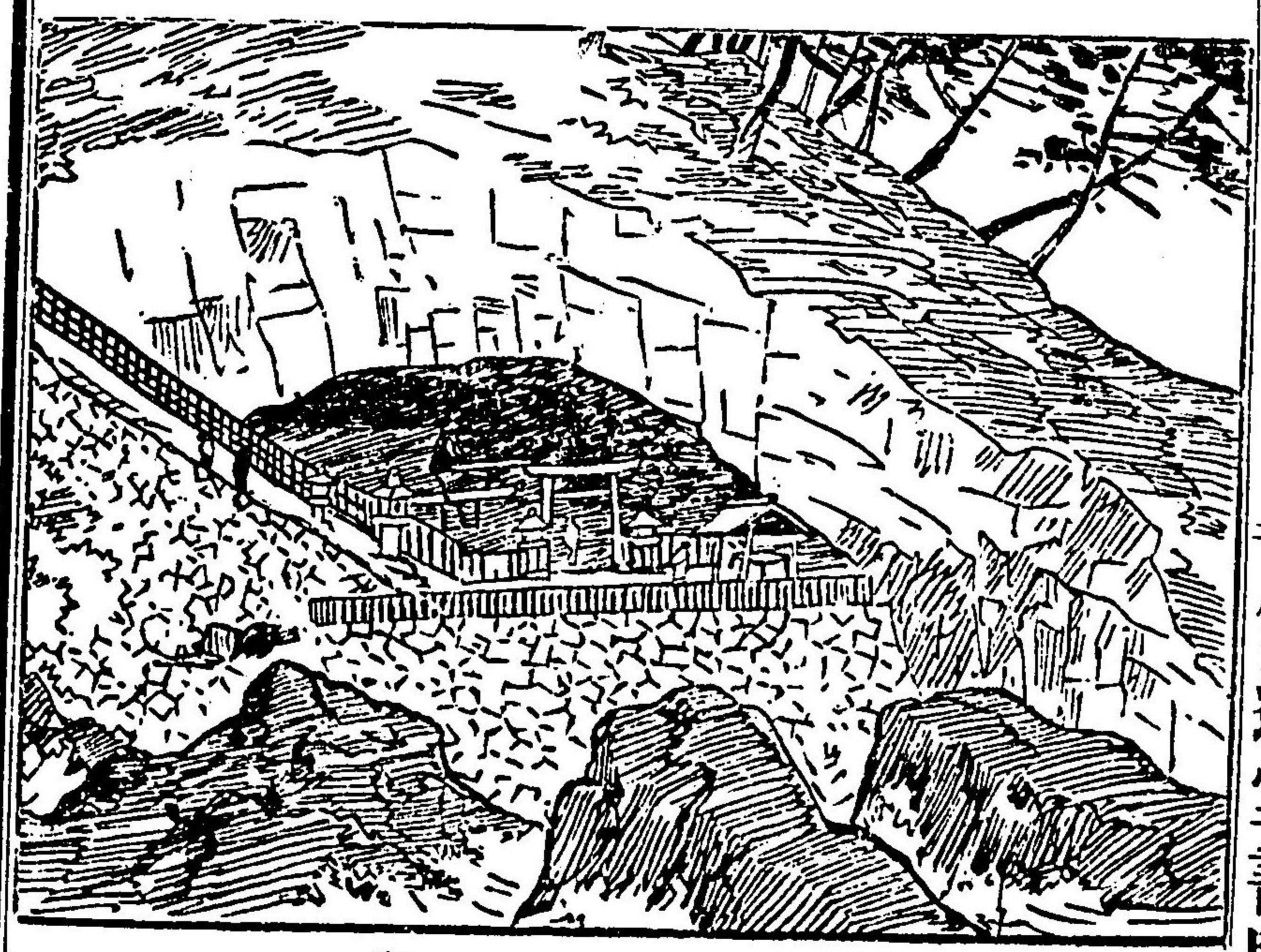
鞍崎燈臺

勝地

梅ヶ濱ハ、油津ノ東六町許ニアル勝地ニシテ、眺望甚ダヨロシ。

神社

鵜戸ハ、油津ノ北三里餘、ソノ鵜戸ノ窟ハ、鷓鴣草茸不合尊ノ御降誕アリ



鵜戸ノ窟

シ所ナリト云フ。東西二十一間、南北十六間、内ニ神廟ヲ安ンズ。即チ、鵜戸神宮ニシテ、鷓鴣草茸不合尊ヲマツル、官幣大社タリ。コノ海岸ハ、奇岩ナラビ立チテ、海波ヲクダキ、ソノ奇觀名狀スベカラズ。マタ日州ノ一勝地タリ。コノ地方ニモ、上古ノ陵墓舊跡、各所ニ散在セリ。

鉄肥ヨリ、西方ニ通ズル路道ハ、牛ノ峠ヲ越エテ、北諸縣郡ノ都城ニ至ル、凡ソ十三里アリ。

北諸縣郡

境界

東ハ東諸縣、宮崎、南那珂ノ、三郡ニサカヒシ、西南ハ、鹿兒島縣大隅國ニトナリシ、北ハ西諸縣郡ニサカヒス。

地勢

東西ハ、山脈起伏、ソノサカヒチカギリ、中央大ニ平坦ニシテ、田園相交ハリ、池水、溪流、縱横ニ流レ、村落ソノ間ニ散在セリ。

山

東嶽ハ、高ク郡ノ東方ニ立テリ。
金御岳ハ、南方ノ縣界ニソビエ、ソノ脈南ニツラナリ、大隅國有明浦ノ岸上ニツク。

川

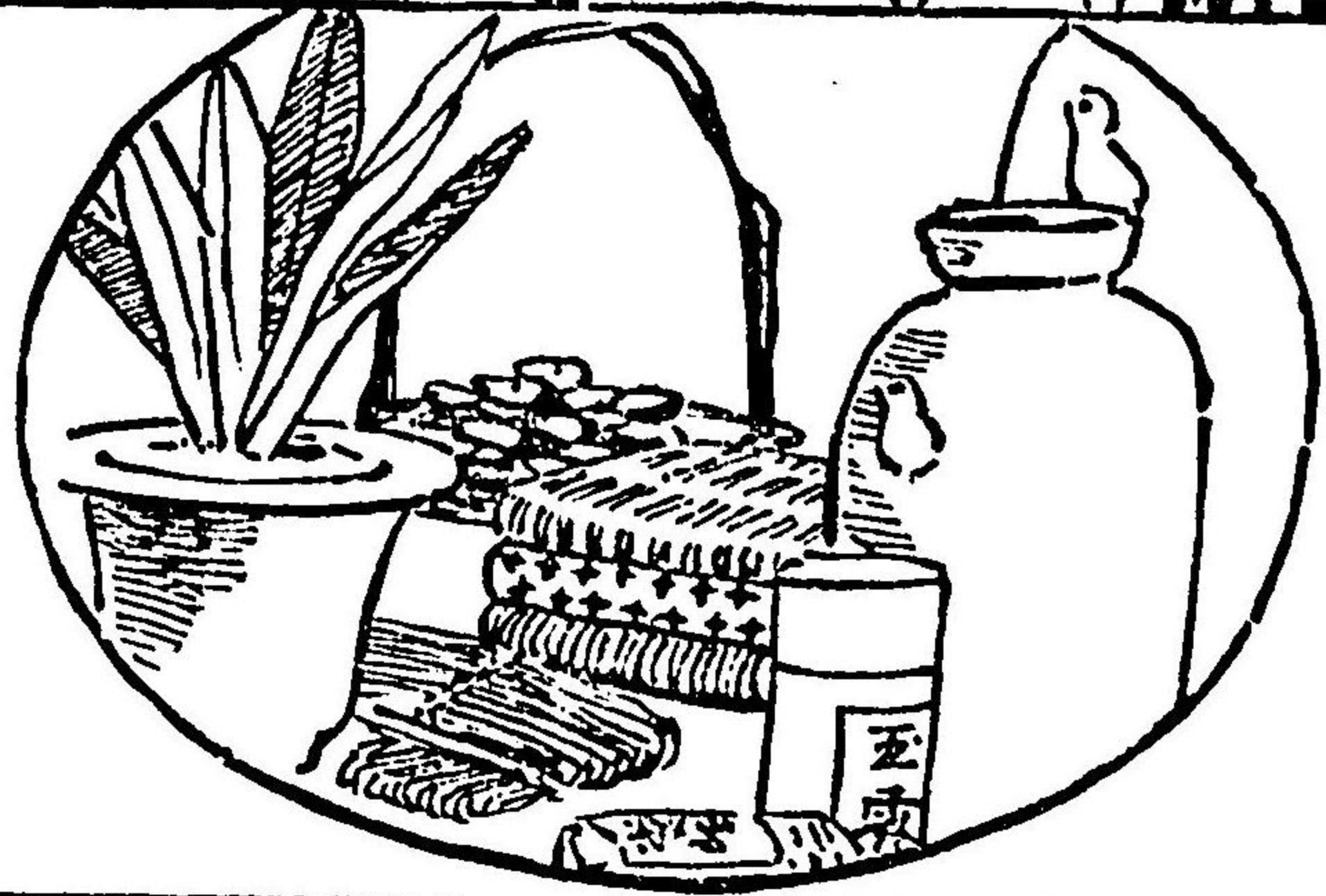
繩瀬川ハ、上流ヲ竹下川ト云ヒ、源ヲ大隅國噲啖

名邑

郡ノ山中ヨリ發シ、本郡ニ入り、都城ヲ過ギ、安永川ヲ合セ、北ニ流レ下リ、岩瀬川ト相會シ東流ス。即チ大淀川ノ上流ナリ。

都城ハ、モト鹿兒島藩ニ屬シ、明治ノ初、都城縣ノアリシ所ナリ、宮崎ヲサル十五里十五町、戶數凡ソ二千百、人口一萬一千八百餘、商家軒ヲツラ子、人馬ノ往來頻繁ナリ。區裁判所、郡役所〔本郡ヲ〕、警察署、郵便電信局〔共ニ都城〕等アリ。ソノ電信線ハ、高岡、小林、鹿兒島ノ各地ニ通ズ。實ニ縣下西南部ニテ繁華ノ都會タリ。市人多ク茶、素麵、干柿ヲ製

都城市場中本町ノ景



シ、マタ木綿カズ總ノ産アリ。小松原ヨリハ、陶器ヲ出
 ス。コノ地ノ萬年青ハ、甚タ佳良ノモノヲ生ジ、世
 ニ都城ノ稱アルニ至レリ。都城ハ、古ヘ都島ト
 云ヒ、萬壽三年、平季基スエ、コノ地ニ來リ、曠野ヲヒラ
 キ、莊園ヲ置クニ及ビ、島津莊、又ハ莊内ト云ヘリ。
 元弘中、島津資忠スネタカ之ヲ領シ、天授元年、義久、城ヲコ
 ノ地ニキヅクニ及ビ、今ノ名ニアラタマレリ。
 庄内ハ、都城ノ西北凡ソ二里ニアル驛邑ナリ。
 コノ地方ハ、麻苧アサノ栽培ニ適セリ。
 高城ハ、都城ノ東北二里三十二町ニアル驛邑ナ

鐵山

リ。

コレヨリ、去川越ヲコエ、繩瀬川ヲ渡レバ、東諸縣郡ニ入ル。

コノ路ノ西方ナル、岩骨山ニハ、アンチモニー鐵山アリ。

都城ヨリ西南ニ通ズル路國道ハ、一里餘ニシテ大隅國ニ入ル。宮崎ヨリ十六里餘、馬車、人力車ノ通行アリ。

縣道ハ、都城ヨリ北ニ通ジ、西諸縣郡ニ入ル。

境界

西諸縣郡

東ハ東諸縣郡ニ連ナリ、南ハ北諸縣郡ニ、西ハ鹿兒島縣大隅國ニトナリシ、北ハ兒湯郡、及ビ熊本縣肥後國ニ界セリ。

地勢

南北ハスベテ山ニシテ、中央ノ一帯ニ平地多ク、水流ソノ間ニ通ジ、田園、村落オホム。子西方ニアツマレリ。

山

國見岳ハ、西北隅ニ立チ、肥後ニマタガリ、山脈東ニ亘リテ、白髮山、狗留孫岳等トナリ、トモニ國境ヲカギリテ、須木山中ヨリ、兒湯郡ノ米良山中ニ

連レリ。

霧島山ハ、名高

キ噴火山ニシ

テ、海面ヲ拔ク

コト凡ソ六千

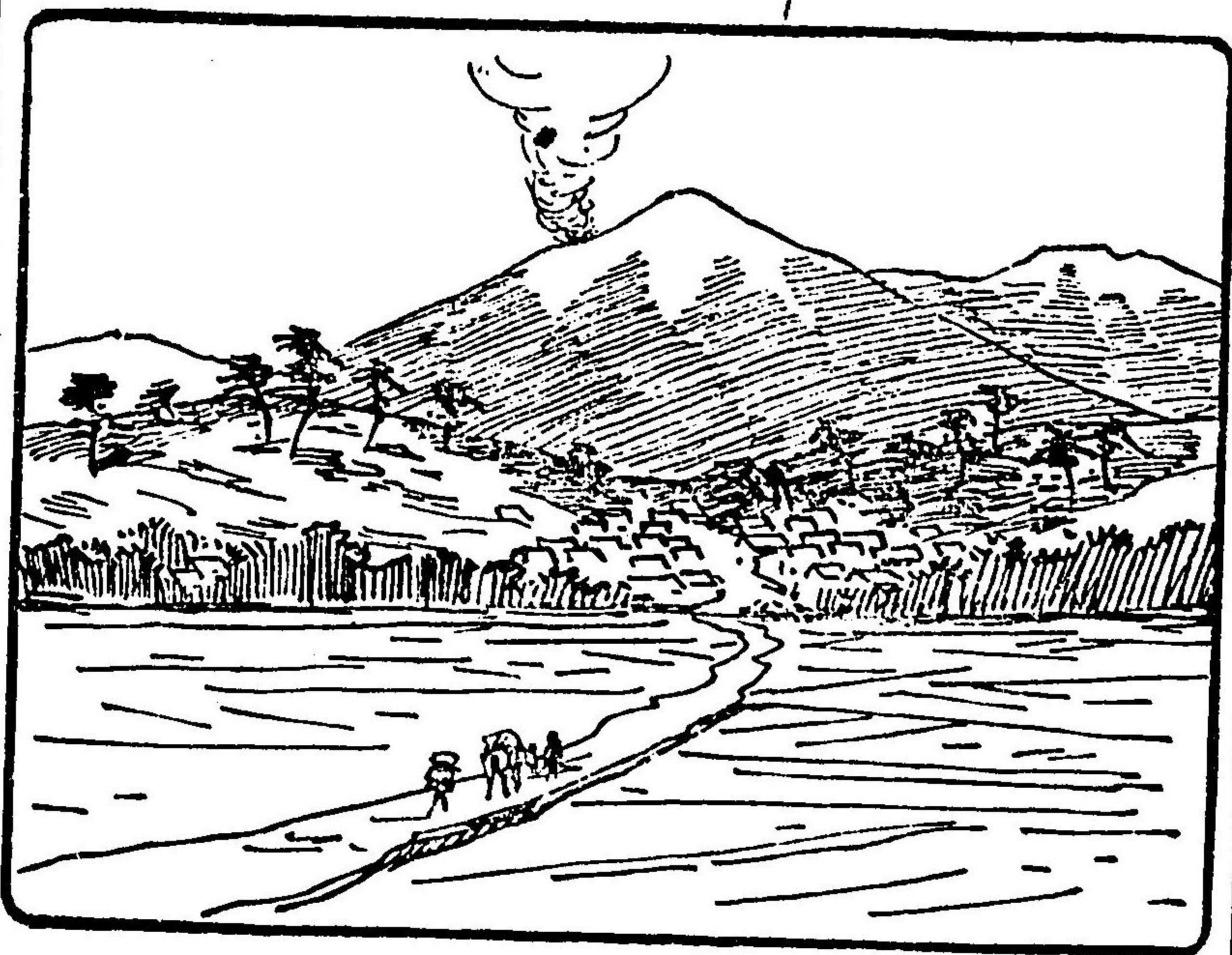
八百十尺、東西

兩峰アリ、東ヲ

矛峰ト呼ビ、西

ヲ韓國岳ト云

フ、山中池沼多



庄内街ヨリ霧島山ヲ望ム

鑛泉

川

ク、御池、雄池等、四十八池アリト云フ。

白鳥、六觀音、吉田等ノ温泉、マタコノ麓ニアリ。來
リ浴スル者多シ。

岩瀬川ハ、源ヲ北方ノ山間ヨリ發シ、南ニ流レ、東
ニマハリ、北諸縣郡ノ界ヲ下リ、繩瀬川ト相會ス。

コノ川ノ上流ナル、東方ニハ、陰陽石ノ奇勝アリ。
眞幸川ハ、源ヲ狗留孫岳ニ發シ、西ニ流レ、薩摩ニ
入ル。實ニ川内川ノ源流タリ。

都城ヨリ、本郡ニ通ズル道ハ、凡ソ六里ニシテ
高原ニ出ヅ。ソノ西方一里餘ニアル、狹野ハ、

名邑

神武天皇御降誕ノ靈地ナリト云フ。

小林ハ、高原ノ北二里ニアリ。モト鹿兒島藩ニ屬シ、人口千二百許、郡役所〔本郡ヲ管ス〕、警察署、郵便電信局〔共ニ小林村ニアリ〕等アリ。ソノ電信線ハ都城ニ通ズ。コノ地方ハ、山林ニ富ミ、杉、樅、檜、松等ノ良材多ク、又少シク茶ヲ出セリ。ソノ細野ハ、昔景行天皇ノ幸シタマヒシ遺跡ニシテ、當時夷守ト稱セシ所ナリト云フ。

飯野ハ、小林ノ西三里餘ニアル驛邑ナリ。

加久藤ハ、飯野ノ西一里餘ニアル驛邑ニシテ、警

察分署アリ。

コレヨリ二里二十餘町ニシテ、肥後ニ入ル。宮崎ヨリ全程凡ソ二十一里、人力車ノ通行アリ。眞幸川ノ流ニ沿ヒ西スレバ、吉田ヲ經テ、大隅ノ吉松驛ニ通ズル道アリ。小林ヨリ東部ノ街道〔縣道〕ハ、野尻、紙屋等ヲ經、十里二十八町ニシテ、東諸縣郡ノ高岡ニ出デシ。以上ノ各地、城趾アラザルナシ、永祿、元龜ノコロ、伊東、島津ノ二氏、各ソノ將ヲシテ守ラシメシ所ニシテ、實ニ當時ノ古戰場ナリ。

東諸縣郡

境界

東ハ宮崎郡ニ、西南ハ北諸縣郡ニサカヒシ、西ハ西諸縣郡ニツラナリ、北ハ兒湯郡ニ接ス。

地勢

東南地方ハ廣ク、西北地方ハ漸クセマク、中央ハオホム子平地ナレドモ、西北、及ビ北諸縣郡ノ境界ハ、山脈相ツラナレリ。

山

高岡ヨリ、西北ノ方ニ當レル山ハ、名高キ法華岳ニシテ、ソノ頂上ニハ、藥師如來ヲマツリ、眺望甚ダ佳ナリ。ソノ西北ニ、高クソビユルモノハ、釋

川

迦岳ナリ。

綾川ハ、南北兩川アリ。南川ハ、白髮山ヨリ出デ、須木山中ヲマハリ下リ、北川ハ、米良山中ヨリ來リ、東南ニ流レ、兩川綾ヲ過ギ相會シ、宮崎郡ノ界ニ至リ、大淀川ニ合流ス。

大淀川ハ、郡ノ東南地方ヲ横流ス。

名邑

高岡ハ、舊名ヲ久津良ト云フ〔慶長五年今名ニ改ム〕、宮崎ノ西三里二十二町ニアリ。大淀川ニノゾミ、人口二千許、郡役所〔本郡ヲ管ス〕、警察署、郵便電信局〔共ニ高岡村ニアリ〕等アリ。モト鹿兒島藩ニ屬セリ。コノ地ハ、水運便利

ニシテ、近傍ノ各地ヨリ出ヅル、薪炭、木材ノ類、オ
ホム子、舟ニテ宮崎及ビ赤江港ニ運送ス。出ス
所ノ紙ハ、世ニ高岡紙ト呼テ、スコブル良質ノモ
ノナリ。

本庄ハ、高岡ノ東北一里餘ニアル名邑ナリ。 劔
柄神社ハ、神日本磐余彦命、稻飯命、玉依姫命ヲ合
祭シ、外三座ノ神ヲ附祭ス。相傳フ、景行天皇ノ十
二年、ハジメテタテシ所ナリト。

コノ地方ニモ、マタ上古ノ陵墓、甚ダ多ク、當時ノ
器物ヲ掘出スコト、往々コレアリ。 本庄ノ西、綾

川ノ南岸ニ、豊臣
秀長ノ陣跡アリ。
倉岡ハ、高岡ノ東
凡ソ二里ニアリ
テ、有名ナル煙草
ノ産地ナリ。
カノ西南ノ役、
谷少將ニシタ
ガヒ、殊勳ヲ立
テシ、軍曹谷村



梅 知 月

勝地

鑛泉

鑛山

計介ハ、コノ地ノ人ナリ。

高濱ナル、月知梅ハ、有名ノ古木ニシテ、一段許ノ地ヲ蔽フ、花ミナ重瓣、花時來リ觀ル者多シ。

穆佐村ニハ、湯ノ谷、及ビ前原ノ冷泉アリ。穆佐城趾ハ、畠山直顯ノ居城セシ所ナリ。

綾村ナル、樸谷ニハ金鑛アリ。

本庄ヨリ、北ニ通ズル路ハ、二里二十一町ニシテ、兒湯郡ノ都於郡ニ至ル。

兒湯郡

境界

地勢

山

東ハ海ニムカヒ、西ハ熊本縣肥後國ニサカヒシ、南ハ東諸縣、西諸縣ノ、兩郡ニ接シ、北ハ東白杵、西白杵ノ、兩郡ニ界ス。

東西ニ長クシテ、海ニ沿ヘル所ニ平地多ク、田園村落モ、亦オホム子、此地方ニアツマル。西南、北ノ三方ハ、高山深谷相ツラナリ、稱シテ米良山中ト云フ。

市房山ハ、西方肥後ノ境ニソビエ、海面ヲ抜クコト凡ソ四千二百尺、縣内中部ノ山脈ヲ起ス。

石堂山ハ、ソノ東ニ立チ、本郡、及ビ東白杵、西白杵

ノ、三郡界ヲ分テリ。

天包山、龍房山等ハ、米良山中ニ於テ、最モ高キモノナリ。米良山中ヨリハ、椎茸、茶等ノ山産物ヲ出シ。又アンチモニー、銀、銅ノ鑛物ヲ出ス。

甲斐右膳ハ、西米良村小春稻荷ノ社人ニシテ、夙ニ勤王ノ志アリ。嘉永六年、米艦浦賀ニ來リ、朝野騷然タルニアタリ、嫡子大藏トハカリ、京師ニ往來シテ、勤王ノ士ヲ訪ヒ、大ニ爲ス所アラントス。遂ニ幕府ノ忌ム所トナリ、トラヘラレテ、共ニ人吉ノ獄中ニ死ス。明治二十四年、朝

川

廷、父子ノ忠節ヲ追賞シ、靖國神社ニ合祭セラ
ル。

尾鈴山ハ、郡ノ北方ニソビエ、コレヨリ南ハ、平野
數里ニ亘リ、大塚、唐瀬、大池等ノ原野アリ。山中
ニ矢研瀧アリ。

耳川ハ、西白杵郡ヨリ來リ、東白杵郡ヲ經、本郡ノ
東北ヲ流レ、東白杵郡トノ界ヲナシ、美々津港ニ
ソ、グ。全長二十八里餘ニシテ、舟運十里、鮎ノ産
アリ。此川ハ、昔大友宗麟ガ、伊東氏ヲ助ケ、島津
氏トタ、カヒ、大敗ヲ取リシ所ナリ。

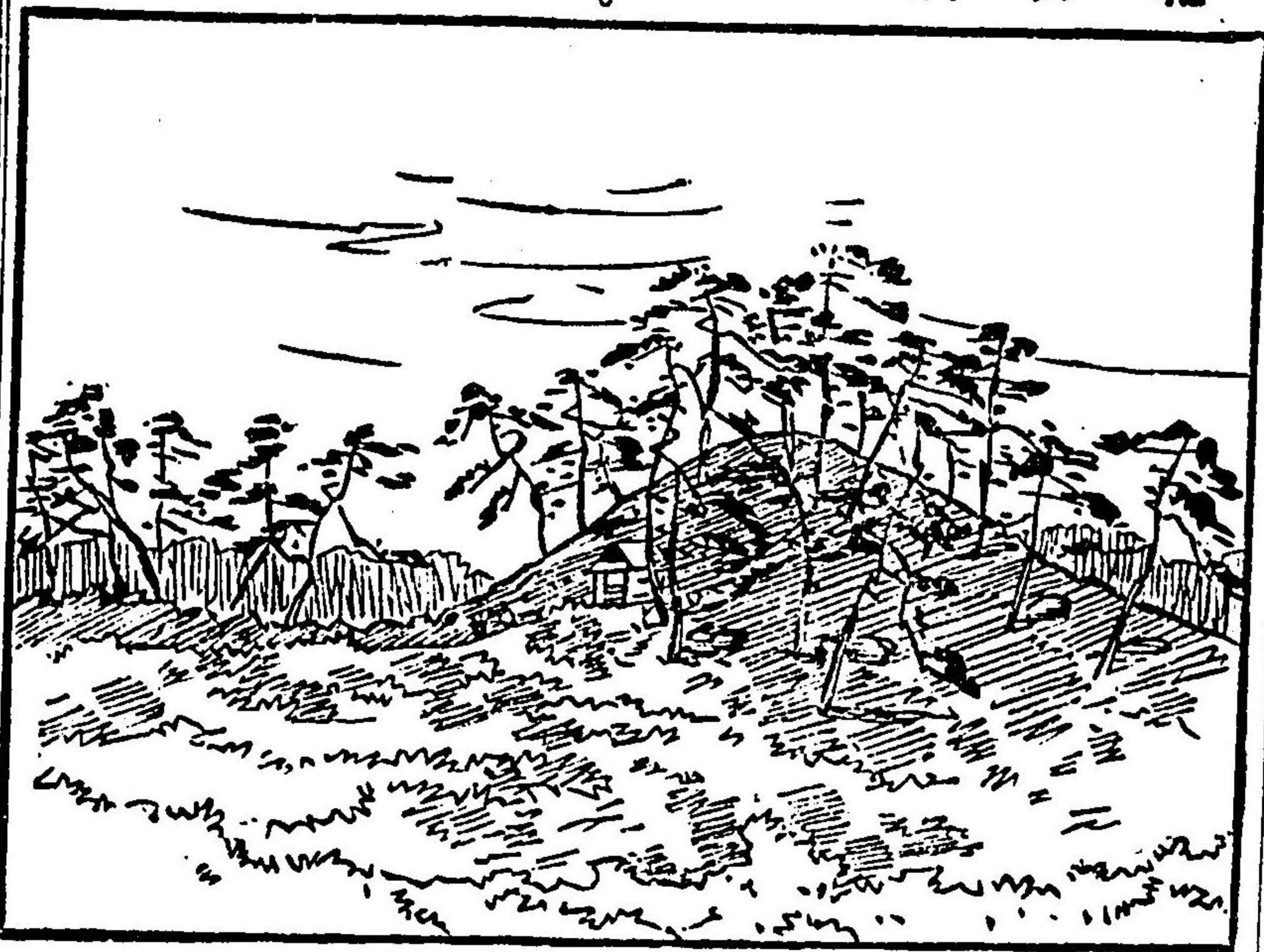
勝地

小丸川ハ源ヲ椎葉山ニ發シ、東白杵郡ノ山間ヲ經、南ニマハリ本郡ニ入り、漸ク東ニ折レ山中チ出デ、蚊口浦ニソ、グ。全長十九里、凡ソ四里半チサカノボリテ、舟運ノ利アリ。
米良川ハ、源ヲ西白杵郡ノ椎葉山ニ發シ、南ニ流レ、板谷川ヲ合セ、東ニ轉ジ、山谷ノ間チ下リ、更ニ二ケノ支源チ合セ、東ニ折テ山中チ出ヅ、即チ一瀬川ノ上流ナリ。
一瀬川ノ北岸ナル、新田村ノ座論梅ハ、高岡ノ月知梅ト、ナラビ稱スルニ足ル。

古跡

都於郡ハ、古ヘ高屋ト稱セシ所ニシテ、佐土原ノ正西一里十七町ニアリ。昔景行天皇ノ、熊襲ヲ討タセタマフヤ、高屋ノ行宮ニ井マスコト六年、子湯縣丹裳小野ニ幸シタマヒ、コノ國ハ、ナホク日ノ出ル方ニムケリト、詔アリシヨリ、日向ナル國名ハ起レリトゾ、コノ高屋行宮ノ跡ハ、岩爪ナラント云ヘリ。都於郡城趾ハ、天正ノ初マデハ、伊東氏累世ノ居城ナリ。建久元年、工藤祐經、日向ノ守護トナリ、五世ミナ伊豆ニ居ル、六世ノ孫祐持ニ至リ、初メテ日向ニ來リ、此城ニ居ル。

妻ハ、都於郡ノ北
 凡ソ二里、警察分
 署アリ。都万神
 社ハ、式内四座ノ
 一ニシテ、木花開
 耶姫命ヲマツル。
 三宅村ニハ、國分
 寺ノ跡、及ビ往古
 日向ヲ支配セシ
 國府ノ跡アリ。



三宅村古墳一ノ

名邑

又此地方ニハ、上古ノ陵墓、各所ニ散在シ、名所舊
 跡スコブル多ク、當時人民ノ使用セシ、器物ヲ掘
 出スコト、往々コレアリ。
 高鍋ハ、モト財部ト云フ〔延寶元年今、名ニ改ム〕廣瀬ノ北三里
 三十四町、舊時高鍋藩ノアリシ所ニシテ、人口千
 餘、郡役所〔本郡ヲ管ス上、江村ニアリ〕警察署、郵便電信局〔共ニ高鍋、村ニアリ〕
 高鍋學校〔上江村ニアリ〕等アリテ、稍繁華ノ市街タリ。ソノ
 電信線ハ、宮崎、及ビ細島、延岡ニ通ズ。製絲場、及ビ
 製糖場アリ、各蒸氣機關ヲ用ウ。産物ハ、米、麥、砂
 糖、織物等トス。蚊口浦ノ牡蠣ハ、風味甚ダヨシ。

高鍋城趾ハ、町ノ西方ニアリ、長祿以前ハ、土持氏ノ居城ナリシガ、ソノ後伊東祐堯ノ有トナリ、爾來沿革一ナラズ、天正十五年秋月種長此城ニ居リシヨリ、二百六十餘年、明治維新ニ至レリ。此地方モ、亦上古ノ陵墓、各所ニ散在セリ。

小丸川ヲ渡リ、本街道ヲ北ニス、メバ、唐瀬原ヲ過ギ、名貫川ヲ渡リ、都農ニ至ル。

都農ハ、高鍋ヲサル凡ソ四里、亦製糖場ノ設アリ。都農神社ハ、一ノ宮ト云ヒ、式内四座ノ一ニシテ、大己貴尊ヲマツル、國幣小社タリ。コノ地ニ産

スル、海膽、海苔ハ、スコブル有名ナリ。

尙ホ進ムコト、二里二十町ナレバ、美々津ナリ。美々津ハ、耳川ノ口ニ當リ、水陸ノ運送、共ニ便利ニシテ、人口千七百餘アリ。明治ノ初、美々津縣ノアリシ所ニシテ、稍繁華ノ驛邑ナリ。産物ハ、紙、錫等トス。昔神武天皇ノ東征シタマフヤ、此トコロヨリ御船出アリシト云フ。今ノ立磐神社ハ、即チ御休憩アラセタマヒシ所ナリト。

東白杵郡

境界

東ハ海ニムカヒ、西ハ西臼杵郡ニ、南ハ兒湯郡ニ
界シ、北ハ大分縣豐後國ニ接ス。

地勢

縣内ノ大郡ニシテ、東西ニセマク、南北ニ長シ、山
岳相ツラナリテ、川流多ク、海濱ノ地、ワヅカニ平
坦ニシテ、田園、村落、オホム子、此間ニアツマレリ。
速日峰ハ、形ヲ以テ又二子塚ト云フ、高ク郡ノ西
方ニ立テリ。

山

行膝山ハ、五箇瀬川ノ北岸ニアリ。山ノ北陰ハ、群
山相ナラビ、豊後ノ境ニツラナレリ。山中ニ同
名ノ瀧アリ、高サ十八丈、實ニ壯觀タリ。

島

可愛岳ハ、ソノ東ニアル岩山ニシテ、明治十年、西
郷隆盛ガ、官軍ニ抗シテ、劇戰セシ所ナリ。
梓峠ハ、高ク豊後ノ界ニソビエ、山脈東ニ走リテ、
斗升崎トナル。

川

島ノ浦ハ、周回三里ノ孤島ニシテ、人口千餘、ミナ
漁業ニ従事セリ。
五箇瀬川ハ、本縣第二ノ大河ニシテ、源ヲ西臼杵
郡ノ三ヶ所村ニ發シ、山間ノ溪流ヲアツメ、東ニ
流レ、更ニ東南ニ轉ジテ、本郡ニ入り、南方村ニ來
リ、遂ニ二派トナリ、南ヲ大瀬川ト云ヒ、延岡ヲ抱

港

テ東流シ、マタ合フテ、東海港ニソ、グ。全長凡ソ三十三里、舟運八里、鮎ノ産アリ。

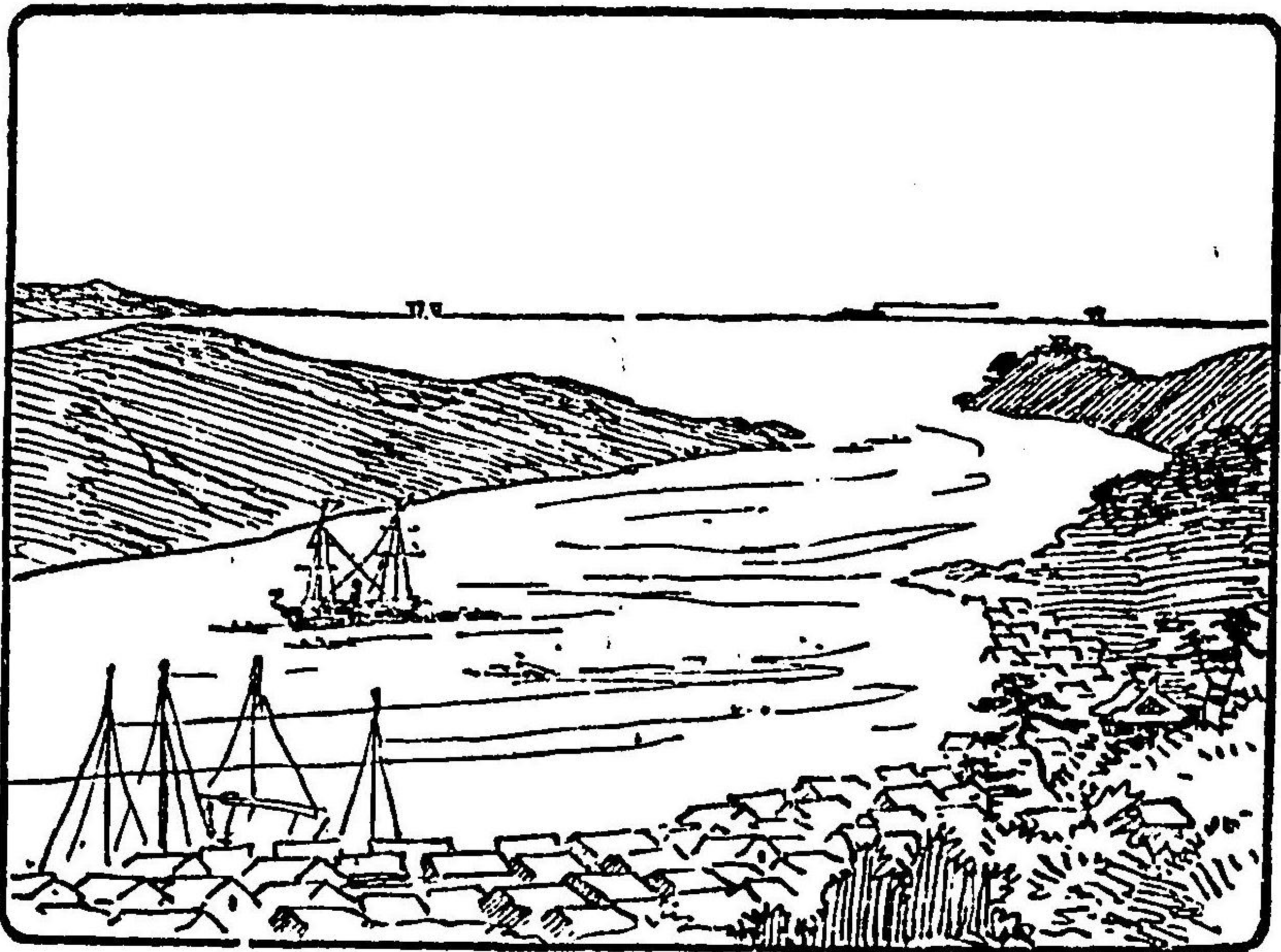
祝子川ハ、北方ノ山間ヨリ出デ、東南ニ流レ、五箇瀬川口ニ合ス。

北川ハ、源ヲ北方ノ山中ニ發シ、南流シテ熊田ニ至リ、更ニ西北ヨリ來ル一流ト相會シ、長井ヲ過ギ、五箇瀬川口ニ合ス。即チ東海港内ナリ。

東海港ハ、港口東南ニムカヒ、水稍深シトイヘドモ、セマクシテ、ワヅカニ東西十町、南北六町ニ過ギザレバ、多數ノ船舶ヲ入ル、能ハズ。然レドモ、

時々汽船出入セリ。

土々呂港ハ、東海港ノ南凡ソ三里ニアリ。鉾浦ノ岬ソノ口ヲ擁シ、水深ク、波オダヤカナレバ、汽船出入シテ、オホム子、延岡地方ノ物産ヲ



細島港

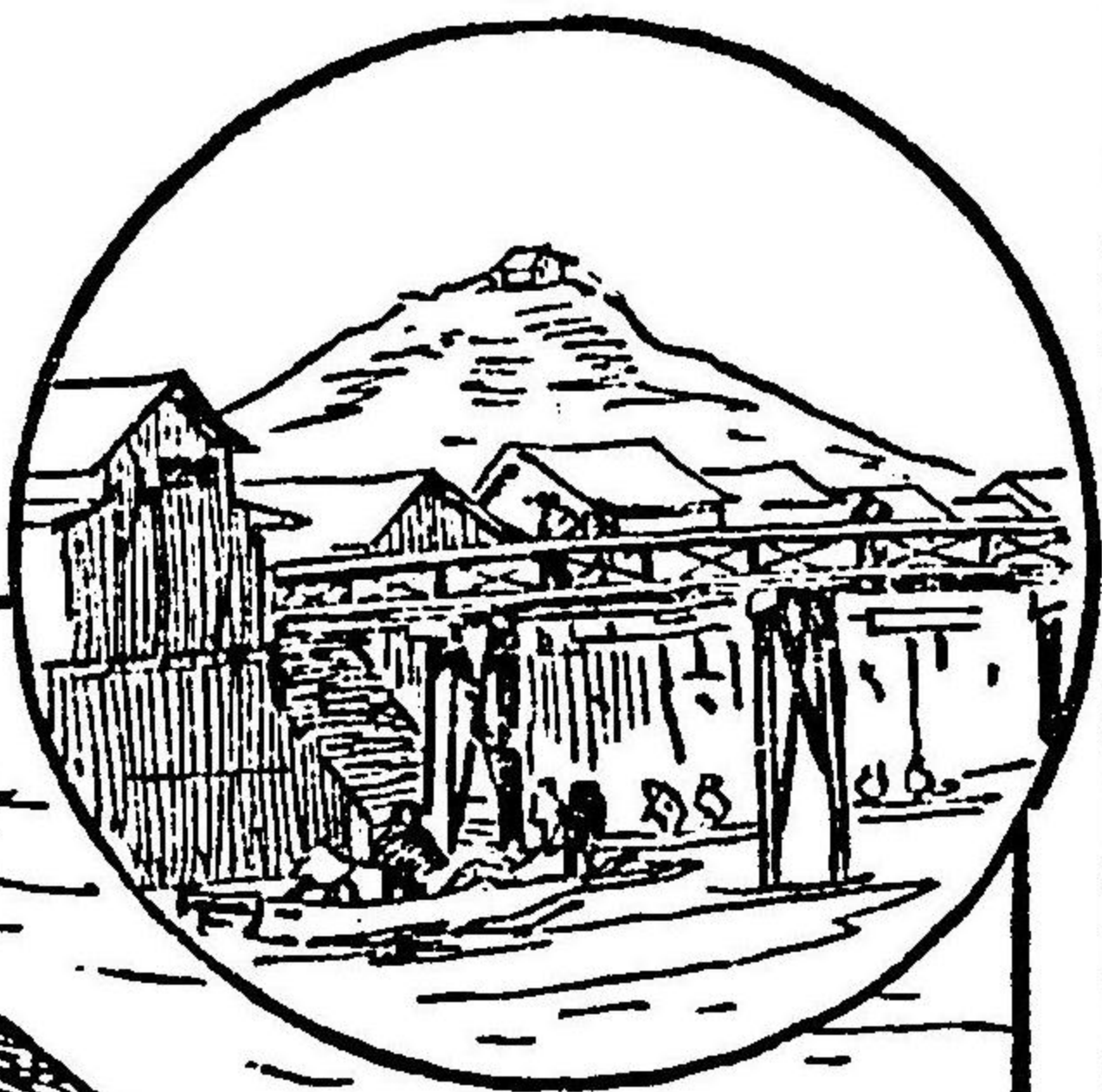
輸送セリ。港ノ東ニツキ出デタル岬ヲ鞍掛崎ト云フ。此沿海ノ地ハ、ミナ漁場ニシテ、鱒ノ漁獲サカンナリ。

細島ハ、富高ノ東一里ニアリ。人口三千五百餘、警察署、郵便電信局アリ。港口東北ニムカヒ、東西十七町、南北五町ニ亘リ、且ツ水深ク、波オダヤカニ、毎日、神戸大阪等ヨリ、鹿兒島、琉球等ニ往來スル汽船出入シ、縣下第一ノ良港タリ。此港ヨリ大阪ニ至ル、二百六十九海里アリ。

耳川ヲ渡リ、北ニス、ムコト、二里二十七町ナ

名邑

レバ、富高ニ出ヅベシ。富高ヨリ西方ニ入レバ、山陰、田代、坪谷、神門等ノ邑アリ。茶、椎茸等ヲ出ス。國道ハ、伊鈴川ヲ渡リ、北ニ進メバ、



山城ヨリ延岡市ノ一部ヲ望ム

延岡ニ至ル。

延岡ハ、富高ノ北五里二十町、宮崎ヲサル二十二里餘、縣下東北部ノ一都會ニシテ、五箇瀬、大瀬ノ二川ヲ帶ビ、市街縱横ニ通ジ、戸數凡ソ千八百、人口凡ソ一萬、キト延岡藩ノアリシ所ナリ、區裁判所、郡役所〔本部ヲ管ス共ニ、岡富村ニアリ〕、警察署、郵便電信局、銀行〔共ニ延岡町〕、監獄支署、亮天社〔村ニアリ〕等アリ。ソノ電信線ハ、細島、高鍋、及ビ豊後ニ通ズ。市中ノ産物ハ、紙、茶、菓子類トス。延岡ハ、古ヘ縣〔元祿五年今名ニ改ム〕ト云ヒ、天正十五年、高橋種

勝地

統〔ハナ〕コ、ニ封ゼラレシヨリ、沿革一ナラズ、延享中、内藤政樹カハリテ城主トナリシヨリ、百二十餘年、明治維新ニ至レリ。コノ地ハ、スコブル山水ノ景ニ富ミ、就中、愛宕〔イワタカ〕、今山ノ遊園ハ、眺望ヨロシケレバ、四時來リ遊ブ人多シ。

國道ハ、延岡ヨリ北ニムカヒ、七里餘ナレバ、大分縣ニ入ル。宮崎ヨリコ、ニ至テ凡ソ三十里、人力車ノ通行アリ。熊田ノ西北ナル、八戸ヨリハ良質ノ硯材ヲ出ス。

別路海岸ニ沿ヒ、古江ヲ經テ通ズルモノアリ。
縣道ハ、延岡ヨリ五箇瀬川ニ沿ヒ西スレバ、三
里半ニシテ曾木驛アリ。尙ホ進ミテ綱瀬川ヲ
渡レバ、西白杵郡ナリ。

曾木驛ナル慈眼寺ハ胤康ノ居リシ所ナリ。
胤康、性豪邁、夙ニ勤王ノ志ヲ抱キ、幕府ノ專
横ヲイキドホリ、四方ニ周遊シテ、ヒソカニ
同志ヲ訪フ。遂ニ幕吏ノトラフル所トナリ、
京都ノ獄中ニ死ス、實ニ慶應二年ナリ。明治
二十四年、亦靖國神社ニ合祭セラル。

鑛山

コノ路ノ南ニアタルハ、城ノ鑛山ニシテ、北方ニ
アタル山ハ、即チ日平ノ鑛山ナリ。イヅレモ良
質ノ銅ヲ出ス。

西白杵郡

境界

東ハ東白杵郡ニツラナリ、南ハ兒湯郡ニ界シ、西
ハ熊本縣肥後國ニ、北ハ大分縣ノ豊後國ニ接ス。
東西ニセマク、南北ニ長シ。全郡ミナ山ニシテ更
ニ平地ナク、田園、村落、共ニ甚ダ稀疎ナリ。
祖母岳ハ、北方、肥後、豊後ノサカヒニ立チ、海面ヲ

地勢

山

拔クコト凡ソ六千三百尺、山脈東ニ走リ、三本松越、黒泥田山等トナリ、豊後ノ境ヲカギル。諸塚山ハ、郡ノ中央ニ高クソバダチ、ソノ脈起伏シテ四方ニ亘リ、全郡ヲ兩部ニ分ツ、北ヲ高千穂ト云ヒ、南ヲ椎葉山ト呼ブ。

椎葉山ハ、一ニ那須トモ云フ。壽永年間、平家ノ遺族、コノ山中ニノガレカクル。那須某、幕命ヲ奉ジ、之ヲ討タントセシガ、ソノ衰微ナルヲアハレミ、虚説ナリト鎌倉ニ報ゼシト。故ニ土人ソノ恩ニ感ジ、今尙ホ那須ヲ以テ氏トスルモノ

川

ノ多ケレバ、遂ニコノ名目アルニ至ルト云フ。五箇瀬川、及ビ耳川ノ上流、アマチク郡内ヲ流ル。延岡ヨリ、西ニ通ズル道ハ、綱瀬川ヲ渡リ、本郡ニ入レバ、新町、宮水等ノ邑ヲ經テ、三田井ニ至ル。

名邑

三田井ハ、延岡ヲサル凡ソ十五里、區裁判所、郡役所〔本郡ヲ管ス〕、警察署〔共ニ高千穂村ニアリ〕等アリテ、本郡第一ノ名邑ナリ。産物ハ、麻苧、椎茸、煙草、茶、玉蜀黍、楮皮等トス。三田井家ハ、鷓鴣草茸不合尊第三ノ御子三毛入野命ニ出ヅ。命ヨリ五十二代ヲ經テ男

子ナシ、豊後緒方ノ莊、惟基ノ嫡子ヲ養テ子トナシ、高千穂太郎政次ト云フ。政次ヨリ七百三十餘年、天正十五年、親武ニ至リ、高橋氏ニ亡ボサル。此地方ヨリモ、亦古代人民ノ使用セシ、石器等ヲ掘出スコト、往々コレアリ。

古記ニヨレバ、此地ヲ以テ、上代天孫降臨ノ靈地トナシ、一ニハ、霧島山ヲ以テ、高千穂ノ遺跡ナリトスレドモ、太古ノ事、漠トシテ今考フベカラズ。

二上神社ハ、モト榎觸大明神ト云フ。彦火瓊々杵

神社

勝地

尊ヲマツル。三田井神社ハ、モト十社大明神ト云フ。三毛入野命ヲ祭ル。荒建神社ハ、猿田彦命ヲ祭レリ。以上ヲ、三田井三社ト稱ス。

三田井ノ西、五箇瀬川ノ上流ニ、窓ノ瀬ノ勝地アリ。一大岩、洞穴ヲ成シ、水ソノ中ヲ流レ、湍瀬ヲナス、實ニ壯觀タリ。

郡内ハ、オホム子山高ク谷深ク、所トシテ勝地ナラザルハナシ。

郡内鑛山多ク、槇峰、權現瀧、尾志ケ八重、大河内ノ銅山、外録、諸鉞ノ銀山〔銅鉛モ亦出ヅ〕、貝立、立平ノ錫山アリ。

鑛山

三田井ヨリ、西北ニ通ズル道ハ、上野、河内ヲ經、豊後ノ竹田ニ至ル。縣道ハ、五箇瀬川ニ沿ヒ西スレバ、五里餘ニシテ肥後ノ國境ニ至ル。宮崎ヨリ全程凡ソ四十三里アリ。



瀬ノ窓

第二編 縣誌

概論

本縣ハ、九州島ノ東南ニ在テ、北ハ大分縣ノ豊後國ニツラナリ、西ハ熊本縣ノ肥後國ニ接シ、西南ハ鹿兒島縣ノ大隅國ニ界シ、東ハ日向灘ニムカヘリ。

東北ヨリ、西南ニ延長スルコト、凡ソ四十里、東西ノヒロサ凡ソ十七里ニ亘リ、ソノ面積ハ凡ソ四百三十六方里アリ。

國中ニ、二派ノ山脈アリ。一ハ西北ヨリ來リ、東南

境界

面積

地勢

山

ニ走リ、アマチク國中ニ連亘シ、一ハ西南ニ起リテ海ニツク。全國ノ地勢、西ニ高クシテ、東ニ降下ス、故ニ河川オホム子東流シテ海ニ入ル。日向灘ハ、波荒クシテ、航海ニハ不便ナレドモ、此沖ニハ魚類多クアツマリ、漁業ニ適スル場所アリト云フ。田園、村落モ、亦地勢ニ因テ疎密アリ。然レドモ、縣内概シテ人口少ク、且ツ荒蕪ノ地多ケレバ、コレヲヒラキテ殖産ノ道ヲ講ズルハ、實ニ今日ノ急務ナリトス。

山ノ最モ高キモノハ、西方ニ霧島山アリ。中部ニ

道路

市房、石堂、尾鈴ノ諸山アリ。北方ニハ、祖母岳、諸塚山アリ。コノ山間、オホム子鑛山アラザルハナク、殊ニ銅、アンチモニー等ハ多量ニシテ、スコブル良質ノモノヲ出ス。

道路交通ノ便否ハ、ソノ國ノ開否ニ、大ナツ關係ヲ有スルモノナリ。今ヤ本縣ノ道路モ、大ニ改修ヲ加ヘ、又昔日ノ比ニアラズ。然レドモ之ヲ他國ニ比スルトキハ、未ダ不便タルヲ免レズ。サレバ道路交通ノ便ヲヒラクハ、吾人縣民ノ務ニシテ、一日モ忘ルベカラザル所ナリ。今宮崎ヨリ、各

港

地ニ至ル、道路ノ主要ナルモノヲ、左ニ説カン。
 宮崎ヨリ、西南ニ通ズル道ハ、鹿兒島街道〔鹿兒島ニ通ズル電線アリ〕ニシテ、西ニ分ルモノハ、熊本街道タリ。又宮崎ノ南ニ通ズルモノハ、飢肥街道〔全所ニ通ズル電信線アリ〕ナリ。
 更ニ、宮崎ヨリ北ニ通ズル道ハ、即チ大分街道〔大分ニ通ズル電線アリ〕ニシテ、延岡ヨリ西スレバ、三田井ヲ經テ熊本ニ達ス。
 海岸出入シ、大河多クシテ、舟ヲ通ズルニ便利ナルハ、恰モ陸路ノ往來便利ナルト同ク、亦ソノ地

川
名邑

方ヲ開クノ媒トナルモノナリ。本縣ハ、オホム子海岸直行シテ、海岸線ワヅカニ七十里餘ニ過ギズ。只北方、及ビ南方ノ海岸、稍出入シテ、自然ノ港灣ヲツクリ、北部ニハ、東海、土々呂、細島港アリ。南部ニハ、折生、迫、油津、外ノ浦、福島ノ諸港アリ。大淀、耳、五箇瀬ノ三川ヲ大河トシ、一瀬、小丸ノ二川コレニ次グ。ミナ舟運ノ利アリ。
 本縣ハ、地廣クシテ、人スクナキガ故ニ、イチシルシキ都會ナシ。只中央ニ宮崎、西南ニ都城、東北ニ延岡ノ三市街アリ。コレニ次デ、飢肥、高鍋ヲ、稍繁

城趾

華ノ名邑トス。

本縣到ル處、城趾アラザルナク、實ニソノ數幾百ナルヲ知ラズ。然レドモ、多クハ創築ノ時代ツマビラカナラズ。永祿中、伊東氏、四十八城ヲオキ、各ソノ將ヲシテ、之ヲ守ラシメ、以テ日向ヲ支配シタリ。

氣候

氣候ハ、寒熱共ニ甚シカラズ。然レドモ、地勢ニ因テ多少ノ異同アリ。西北山間ノ地方ハ、オホム子寒冷ニシテ、東南沿海ノ地方ハ、甚ダ溫暖ナリ。地味ハ、肥沃ニシテ、最モ農作ニ適シ、就中、東方海

地味

生業

岸ノ地方ハ、柑橘類ニヨロシク、西方、及ビ南方ノ山間ハ、營林ニ適セリ。

本縣ノ民ハ、農ヲイトナムモノ五分ノ四ニ居リ、他ハオホム子ソノ地方ニ依リ、漁業、商業等ヲイトナム。

戸町口村

五町、九十五村、八萬四千百十八戸、四十三萬八千五百七十四人アリ。

物産

物産ノ主要ナルモノハ、材木、木炭、椎茸、甘藷、煙草、米、麥、茶、生絲、麻苧、楮皮、紙、砂糖、檀實、銅、鯉、鱒、鱈、ソノ他ノ海魚等ナリ。

沿革

吾ガ日向國ハ、天孫降臨ノ靈地ニシテ、神武天皇
 コノ地ヨリ起リタマヒ、我邦ニ於テ、最モ早クヒ
 ラケシ所ナリ。故ニ名所舊跡、處々ニ散在シ、今尙
 ホ往時ヲ想像セシムルニ足ル。サレバ、益ソノ
 遺跡チアラハシ、我邦古代ノ有様ヲ知ルハ、實ニ
 有益ニシテ、且ツ興味アルコトナラズヤ。
 神武天皇、東征ノ後ハ、王化ノ及バザルモノ七百
 年、景行天皇、親征シテ始メテ日向ノ國ト命名シ
 タマフ、蓋シ文武天皇大寶中、日向ヲ割キテ薩摩

ヲオキ、元明天皇和銅六年、又日向ヲ割キテ大隅
 チ置ク。コ、ニ於テ、三國ノ境界始メテサダマリ、
 國毎ニ國府チ設ケ、國司ノ來リテ、民治ヲツカサ
 ドルコト、他ノ諸國ニ同ジ。

欽明天皇ノ三十一年、土持直彥宿禰ナル者、豊前
 ヨリ來リ、縣ニ居城セリ。長寬中、源爲朝、九州全國
 チ攻メシタガヘ、ミヅカラ鎮西八郎ト號シ、筑紫
 總追捕使ト稱ス。

源賴朝ノ幕府チ建ツルニ及ビ、諸國ニ守護ヲオ
 キ、以テ天下ノ兵權チニギル。建久四年、島津忠久

ヲ薩摩、大隅ノ二國、及ビ日向一部〔諸縣地方〕ノ守護トス。建武二年、伊東祐持、伊豆ヨリ下リテ、都於郡ニ居城セリ。コノ時ニアタリ、日向大ニミダル。將軍足利尊氏、特ニ島山直顯ヲ、日向ノ守護トス。幾クナクシテ、菊池武光ノタメニ亡ボサル。伊東祐堯〔祐持五世ノ孫〕ニ至リ、國中ノ諸族ヲ亡ボシ、日向大半ソノ有ニ歸ス。爾來、伊東、島津ノ間、戰爭ヤム時ナシ。島津義久、大軍ヲヒキ井來リ、都於郡ヲ攻ム。城主義祐支フル能ハズ、城遂ニ陥リ、豊後ニ奔リ、大友氏ニ據ル。實ニ天正五年十二月ナリ。コ、ニ

於テ、三國マタ島津氏ノ支配トナレリ。天正六年、大友宗麟、大舉シテ來リ、先ヅ縣ノ土持氏ヲ亡ボシ〔高信ノ時ナリ土持氏縣ヲ領ス、進ンデ義久ト大アルコト三十三代七百餘年ナリ〕。進ンデ義久ト大ニ耳川ニタ、カフ。義久ムカヘ討テ、大ニ之ヲヤブリ、遂ニ豊後ニ入リテ、大友氏ヲ亡ボシ、威九州ニ振フ。十五年、關白豊臣秀吉、兵二十餘萬ヲヒキ井、豊前、豊後ニ來リ、弟秀長ヲシテ、日向口ノ大將トシテ、島津氏ヲ討チ、ソノ侵地ヲオサメ、九州始メテ無事トナレリ。コ、ニ於テ、秀吉更ニ封土ヲ定メ、島津氏ニ薩摩

大隅ノ二國、及び日向ノ諸縣郡ヲ與ヘ。秋月種長
 ヲ高鍋ニ、高橋種統ヲ縣ニ、伊東祐兵ヲ飢肥ニ封
 ズ。慶長八年、將軍徳川家康、更ニ島津以久ニ佐
 土原ヲ與フ。十八年、高橋罪アリ、常州ニ流サレ、
 有馬直純ヲ縣ニ封ズ。元祿五年、有馬永純、越後ノ
 絲魚川ニ徙封セラレ、ソノ後、延岡城ニ居ルモノ
 ハ、三浦、牧野、兩氏ナリシガ、延享中、内藤政樹代ハ
 リテ城主トナリシヨリ、伊東、秋月、島津ノ三氏ト
 共ニ、世々相ツタヘ、日向スベテ四藩アリ。
 明治維新、廢藩置縣トナリ、都城、美々津ノ兩縣ヲ

置キ、日向ヲ管セリ。明治五年、肥後球摩郡米良
 ヲ割キテ、兒湯郡ニ屬ス。六年、都城、美々津ノ兩
 縣ヲ廢シ、更ニ宮崎縣ヲ置ク。九年、宮崎縣ヲ廢
 シテ、鹿兒島縣ニ合ス。
 十六年、マタ宮崎縣ヲ置キ、臼杵郡ヲ東西ニ、那珂
 郡ヲ南北ニ、諸縣郡ヲ東西南北ニ分チ、南諸縣郡
 ハ鹿兒島縣ニ屬シ、宮崎、兒湯ト共ニ九郡ヲ管セ
 リ。二十一年、町村制ヲ實施セラレ、舊來ノ町村多
 クハ合併シ、新ニソノ區域ヲ定ム。二十九年三月、
 宮崎郡、及び北那珂郡ヲ廢シ、其區域ヲ以テ、更ニ

宮崎郡ヲ置キ、縣下總テ八郡アリ。同月、日向國南諸縣郡ヲ廢シ、更ニ大隅國噲啖郡ノ地ニ屬セリ。

宮崎縣地誌終

面積戸口耕作地郡別表

郡名	面積	戸數	人口	一方里平均人員	田	畑
宮崎郡	二七八四	一三、六三三	六七、六七六	四、八六三	六、二五八、七	五、二七六、四
南那珂郡	四、五二〇	一一、三三七	五九、一七五	一、三〇九	五、四九三、四	五、三二一、八
北諸縣郡	四、四四五	一一、〇五六	六二、七六一	一、五二四	六、一七一、九	一一、四六六、五
西諸縣郡	五、六一六	七、六〇二	三五、六八八	六、三五	四、五三八、六	六、九五六、七
東諸縣郡	二、二二三	五、九九一	二六、六八九	一、二〇一	三、三三〇、三	三、〇六二、九
兒湯郡	七、一一一	一一、八七〇	五六、九五四	八、〇〇	五、九八三、一	一〇、三六二、一
東臼杵郡	一〇〇、三三四	一六、九三五	九一、九九八	九、一七	五、九三二、六	五、八五七、八
西臼杵郡	七、二一一	五、八九五	三七、六三三	五、三三	七、九二〇	五、五五五、七
合計	四三六、五四四	八四、一一八	四三八、五七四	一、〇〇五	三八、四八九、六	五四、二九六、四
二十五年		八三、九二六	四三三、八一四	九、九二	三九、〇六二、〇	五五、七四四、八
二十四年		八三、四四三	四二五、六四六	九、七五	三九、〇五四、九	五四、四〇九、六
二十三年		八三、〇四五	四一八、一五五	九、五八	三八、五六九、九	五四、六三八、七
二十二年		八二、〇七〇	四一四、〇八四	九、四九	三八、五一〇、五	五一、七九五、二

備考 表中面積ノ()ハ方里ヲ示シ、厘位ニ止メ、田畑最下ノ()ハ町ヲ示シ、反位ニ止ム

地名里數		管内町村名	
地名	里數	町名	村名
宮崎	〇	宮崎町	大淀 滑武 田野生 目大 宮爪 生野
南那珂	一三、一六	那珂	佐土原 廣瀬 住吉 糠赤江 木花 青島
北諸縣	一五、一五	油津町	依肥 東郷 北郷 鶴戸 吾田 酒谷 細田
西諸縣	一四、〇三	南郷	榎原 大東 福島 北方 本城 都井 市木
東諸縣	三、二二	都城市	中郷 五十市 庄内 西嶽 山田 志和 池
兒湯	七、〇五	高崎	高城山之口 三股 沖水
東白杵	二二、二五	西諸縣	小林 高原 野尻 須木 飯野 加久藤 眞幸
西白杵	三七、二五	東諸縣	高岡 本庄 綾木 脇八代 倉岡 程佐
鹿兒島	三〇、一四	兒湯	高鍋 上江 富田 新田 下穂 北郷 於那 三財 三
大分	五〇、〇六	東白杵	納西米 良東米 良上穂 北木 城川 南都 農美
熊本	五五、〇一	西白杵	美津
大阪	二二、四、一〇	東白杵	延岡 町細 島町 岡富 恒富 伊形 門川 宮高 岩
京都	一三、七、一一	兒湯	脇東 郷西 郷南 郷北 郷北方 南方 東海 北川
東京	三六、八、〇〇	東白杵	南浦 北浦
長崎	一一〇、一四	西白杵	高千穂 上野 岩戸 七折 岩井 川諸 塚三ヶ所
神戶	二二、四、〇八	西白杵	鞍岡 田原 権葉
横濱	三五、九、二四		
新潟	三九、〇、二八		
函館	六六、二、二九		

管内町村名別表

氣候表	最高溫度		最低溫度		平均溫度	
	全月	全日	全月	全日	全月	全日
備考	宮崎測候所ノ觀測ニ係ル					
最高溫度	二十六度	二十五年	二十四度	二十三年	二十二度	
全月	七月十七日	八月十三日	七月二十六日	八月十八日	八月二十日	
最低溫度	零下五、九度	零下六、一	零下五、四	零下三、三	零下四、四	
全月	一月十七日	一月二十二日	一月二十六日	一月五日	二月一日	
平均溫度	一六、一六	一六、六一	一六、九七	一七、八〇	一六、八〇	

物産郡別比較略表

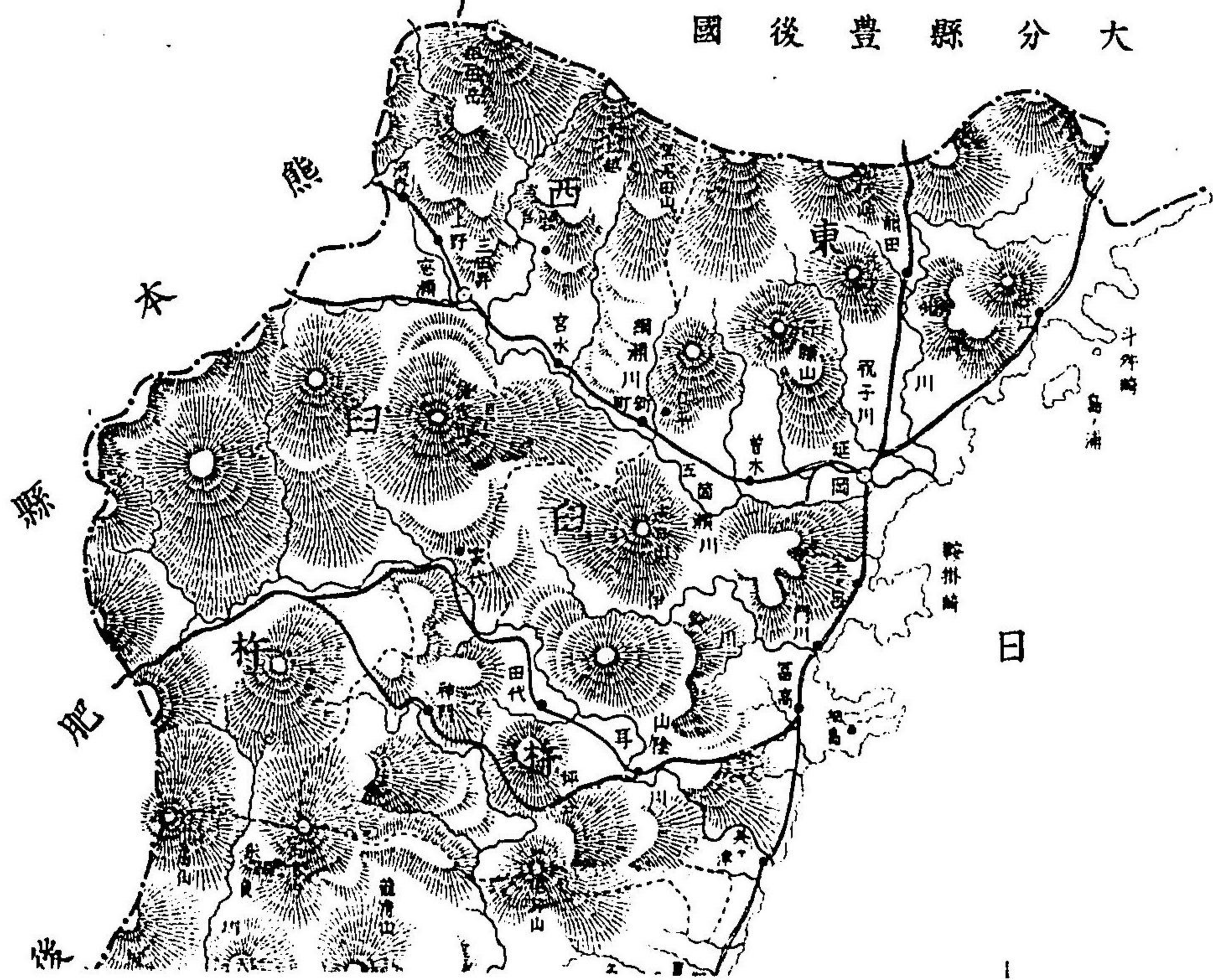
郡名	木材	炭	椎茸	甘藷	米	麥	葉煙草	麻
宮崎郡	一、九、〇四七	一、五、八四〇	六、〇五	七、四四、三二	八、二、五七五	三、一、八三	一、五、三五一	五、〇九五
南那珂郡	五〇、八三三	二、六四、一一九	八〇〇	三、三三、四五〇	六、一、八四九	二、三、九一〇	九、五二	二、六、四四四
北諸縣郡	八、四三二	二、七四、一一	七、六四	四、一四、一七六	七、一、四七五	一〇、九八一	六、八五六	一、七、八八九
西諸縣郡	一、三、八四八	一、八三、〇〇	二、二九〇	一、〇二、〇三五	六、三、二九〇	九、一〇九	三、〇三二	六、八四六
東諸縣郡	一、八五六	二、二七、六〇〇	一〇、四九七	五、三三、九三〇	三、一、三五三	九、一一三	二、五〇三	五、二九五
兒湯郡	一〇、九七七	二、五、二三五	六、三、五四	一、四三、七七一	六、七、五二五	二、八、〇二九	一、五、八八六	八、八七五
東白杵郡	五、五、一五三	三、九、七、八八五〇	一、二、九九五	六〇、四、一一	七、八、一四二	五、四、六六五	二、四、二二	二、七、六二
西白杵郡	七、八七五	二、四、八、三四〇〇	一〇、四、六七	四、四、〇、四八〇	九、三、三六〇	三、三、七四〇	三〇、六五四	六、七、三四五
合計	一、六、八、〇二〇	四、九、一、三、三〇五	四、四、六、七三	一、二、二、五、四、五〇四	四、六、五、五、六八	二〇〇、七、二九	七、七、五、五五	一、四、〇、五、五一

前表ノ續キ

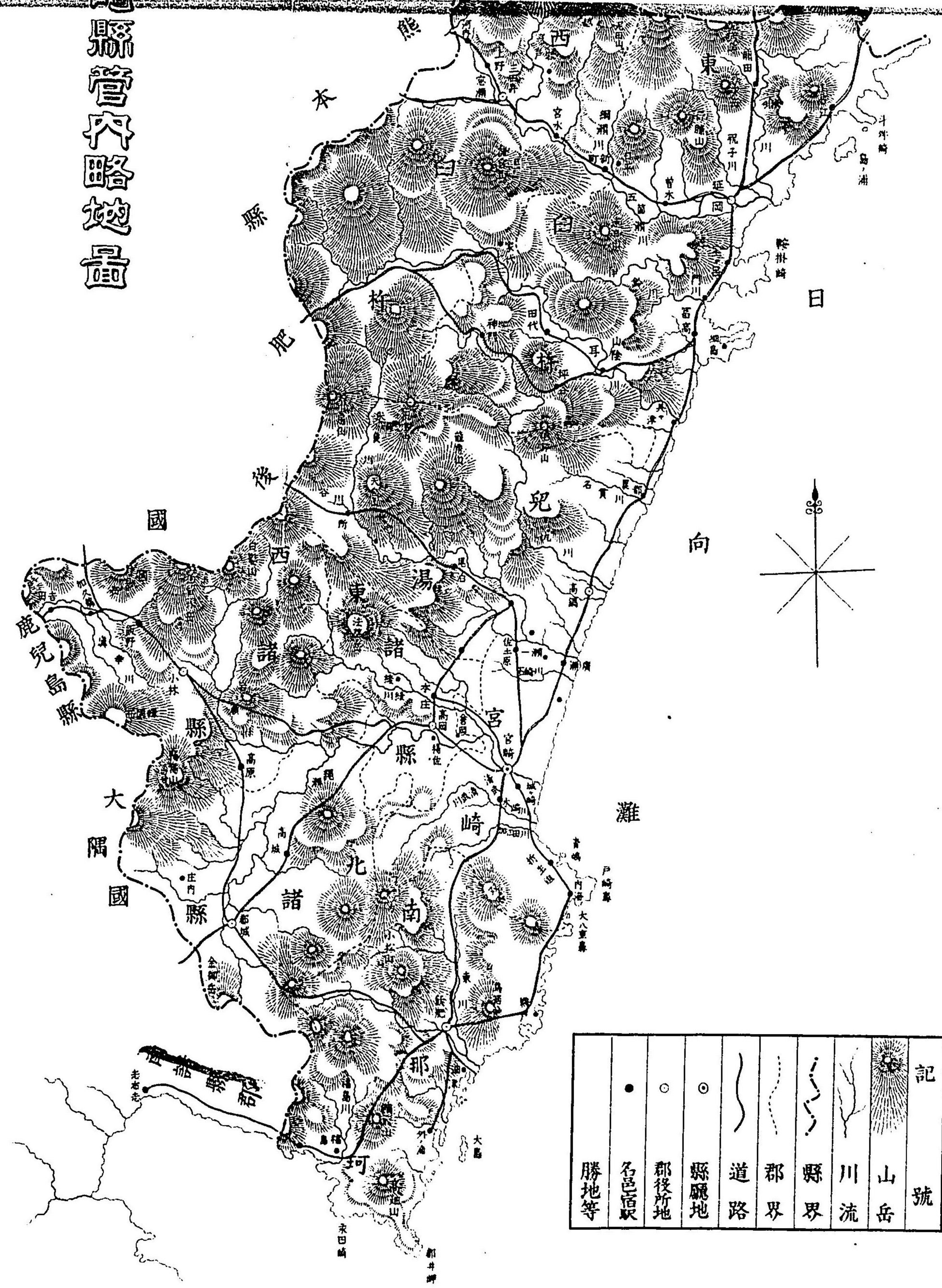
郡名	製茶	製紙	生絲	楮皮	砂糖	植實	漁獲金額	礦物代價
宮崎郡	一七〇六九	二,二二五	七八三	二六,〇八九	二七,〇一	一三〇,二二	三三,六一三	
南那珂郡	一四,四四三	六,四八九	四九九	二二,八一三	五五,九二五	一八,四八一	八三,二四五	
北諸縣郡	八三六一四	四,九三五	四五〇	一九,五九八	一五四			一,三三〇
西諸縣郡	三二,一四〇	一九五	七一	二一,七〇六				
東諸縣郡	四六七〇	二二,三六一	一一一	二二,五三〇	五二四	一三,〇〇〇		五六四
兒湯郡	一,二〇六九	二四,二六八	一,〇四四	八七六一	二八,九五五	六一〇,二〇〇	一〇〇,一五	八六五
東臼杵郡	二四,七四八	八,九七一	二四二	一四,七五六	三六五〇	二六,四六二	九六,二八〇	一五七,九三三
西臼杵郡	三七,八四〇	二,〇九三	二八	二八,三六五				九九,五四二
合計	二六,五九三	七一,三二七	三,三三八	一五五,六一八	一六六,二〇九	二二〇,二四四	二二二,一五三	二六〇,一二四

備考 本表ハ二十六年中ノ事實ヲ調査セシモノナリ○山産物農作物水産物中産出額ノ少ナキモノハ一々列擧セズ○表中木材ハ只杉松樟樺櫟等ノ材板ノ産出ヲ示セシモノナリ○表中(一)印ハ事實ナキモノナリ

宮崎縣管内略地圖



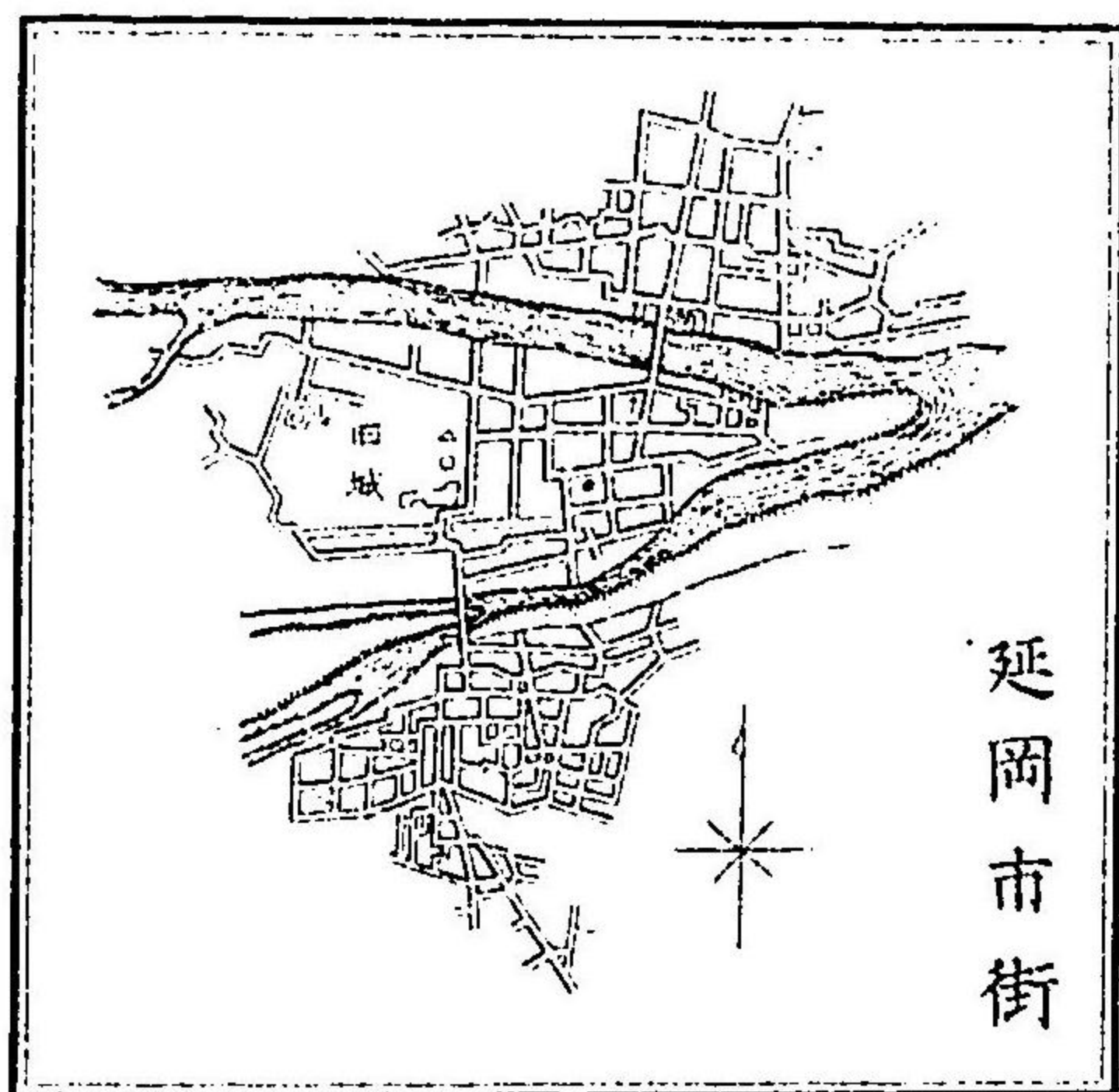
縣管内略地圖



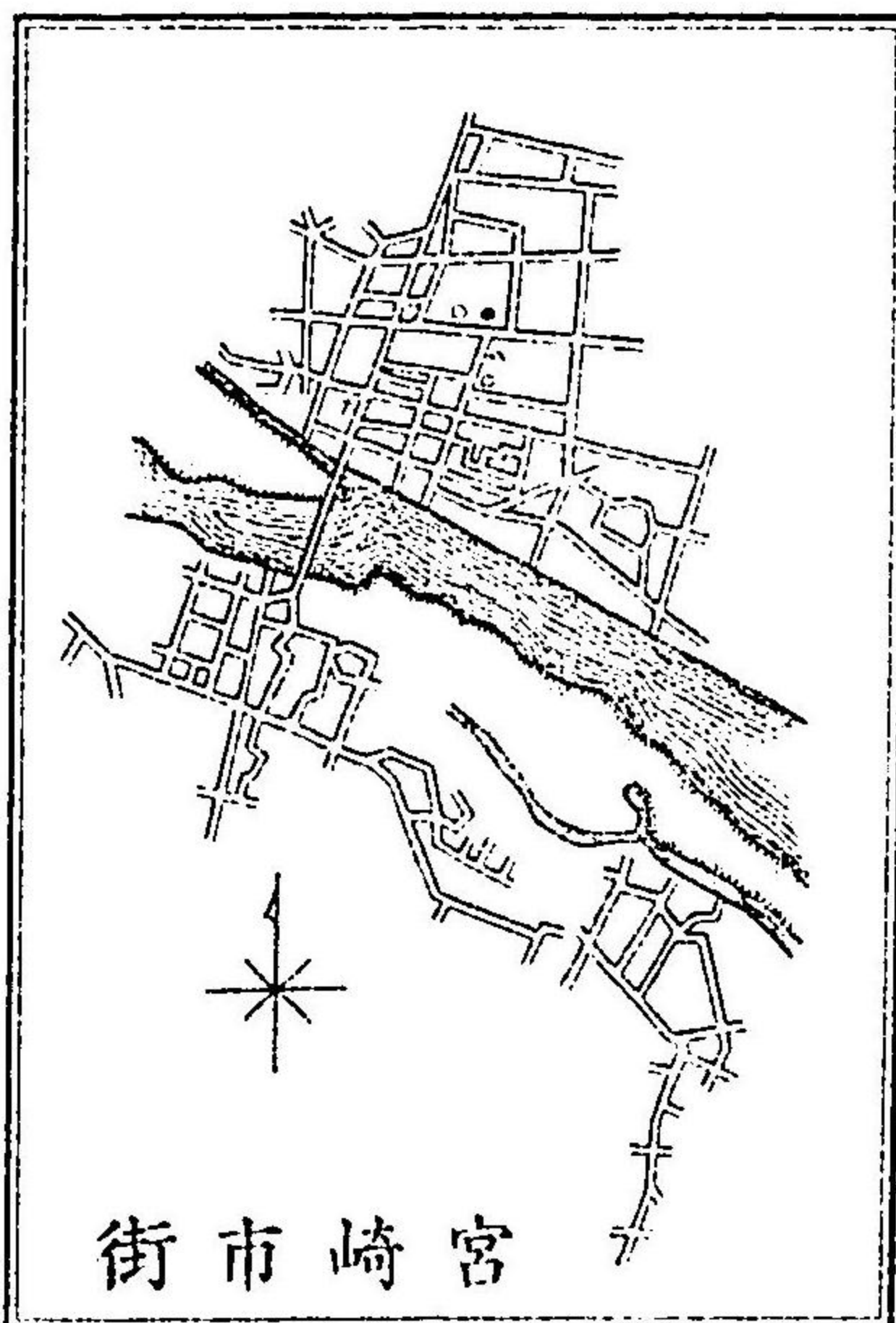
●	○	○	—	—	—	—	—	記
勝地等	名邑官取	郡役所地	縣廳地	道路	郡界	縣界	川流	山岳

記號

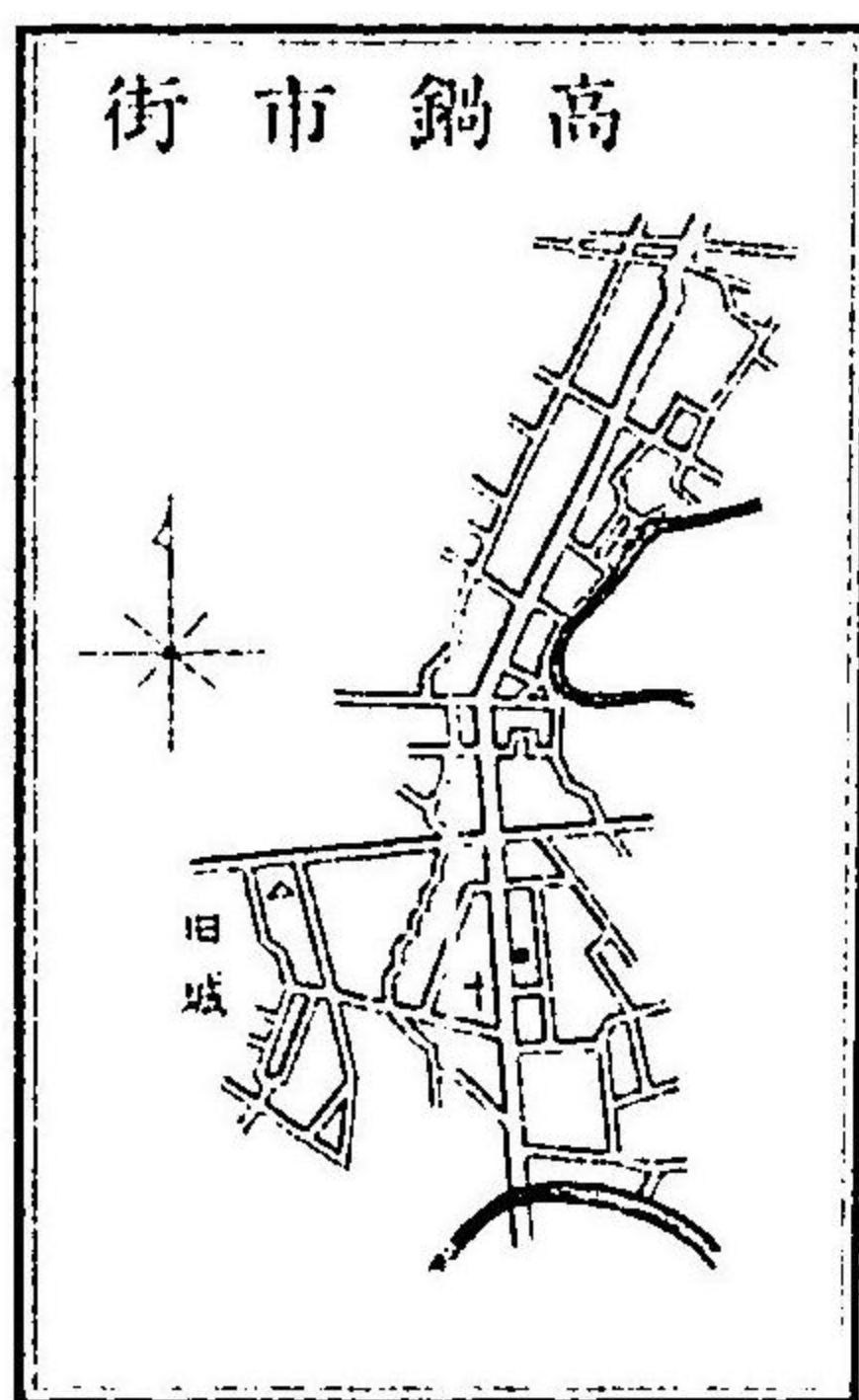
十	●	△	□	○	記 号
電 郵 局	警 察 署	郡 役 所	裁 判 所	縣 廳	



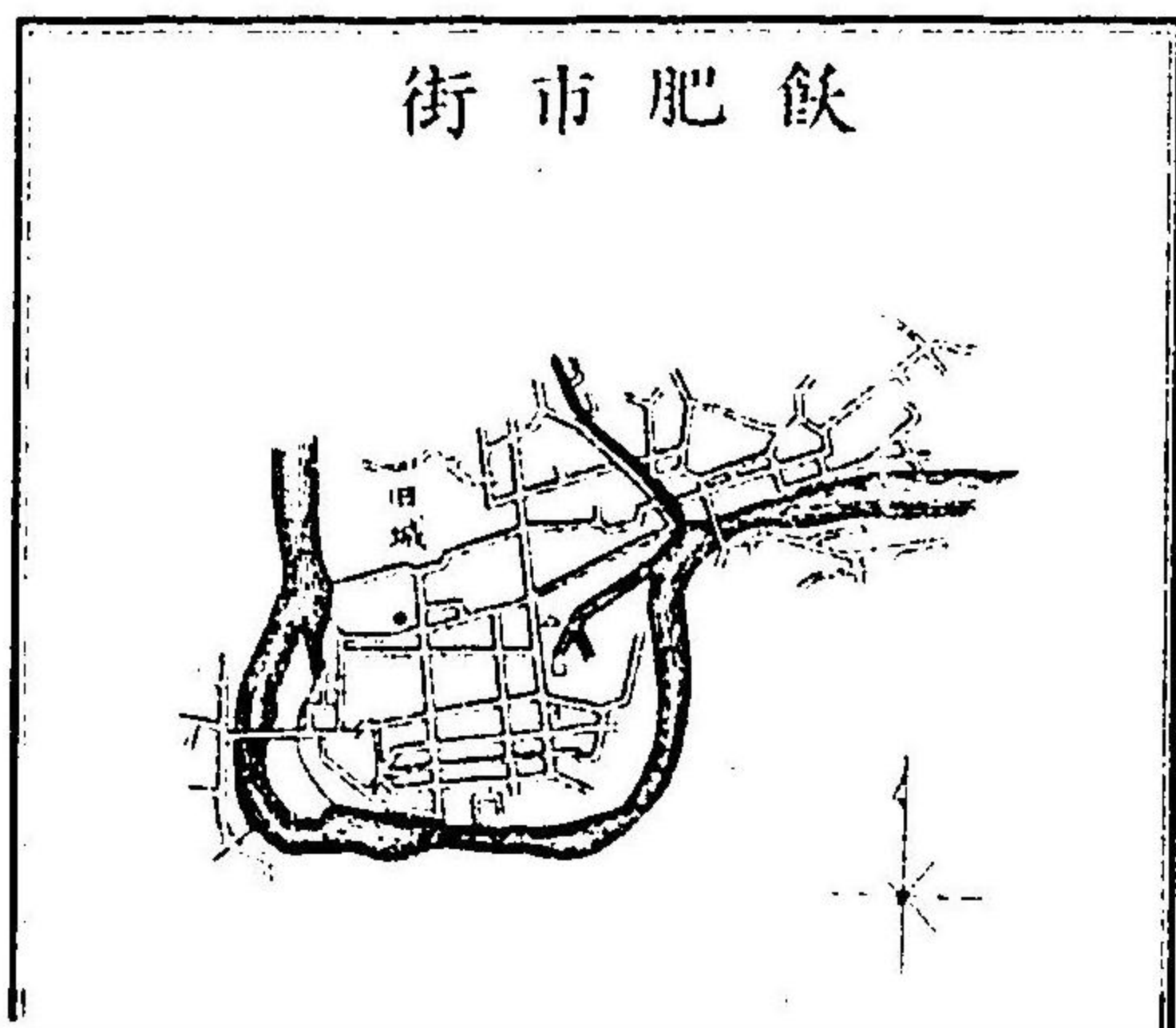
延岡市街



宮崎市街



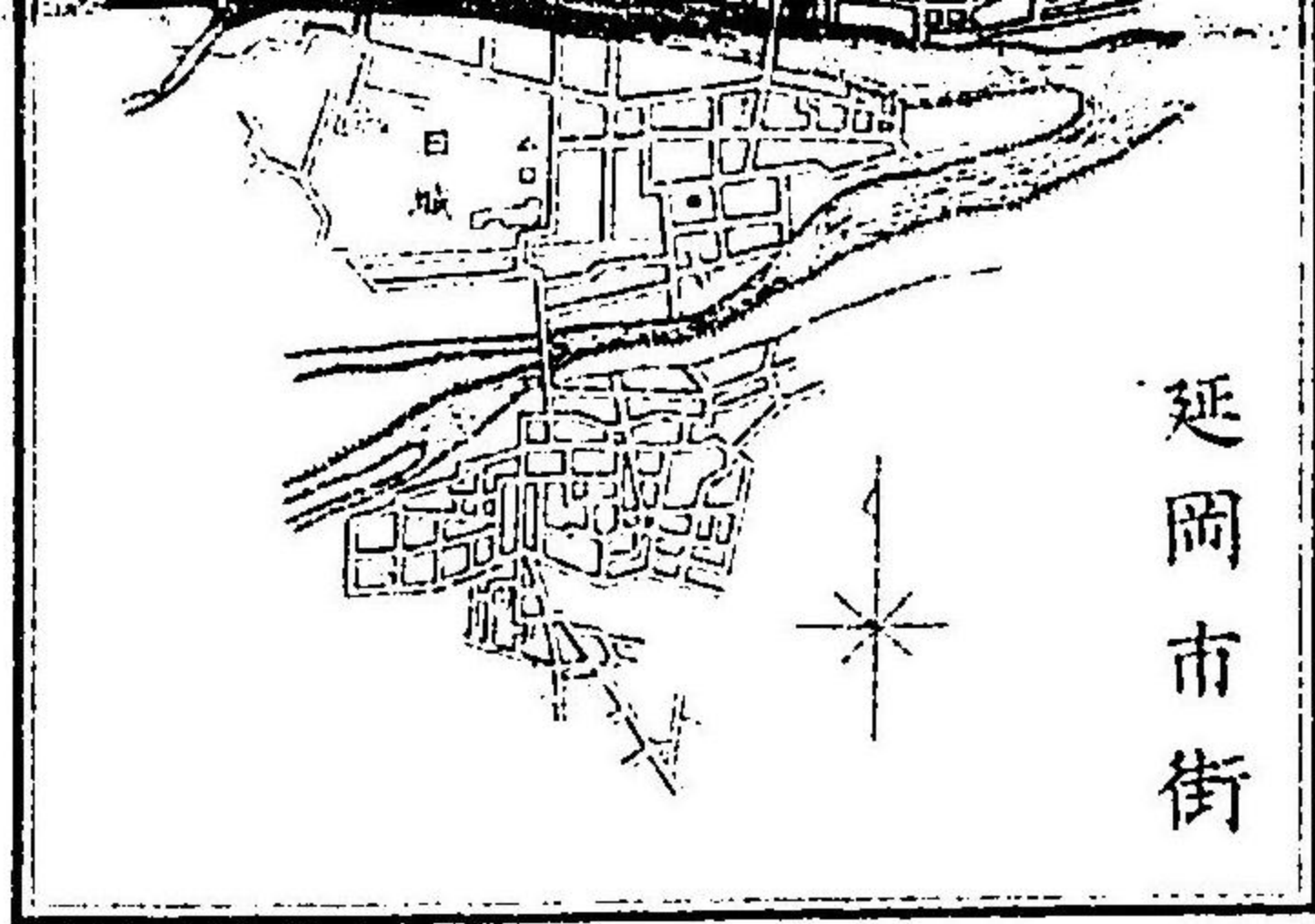
高鍋市街



宇都宮市街



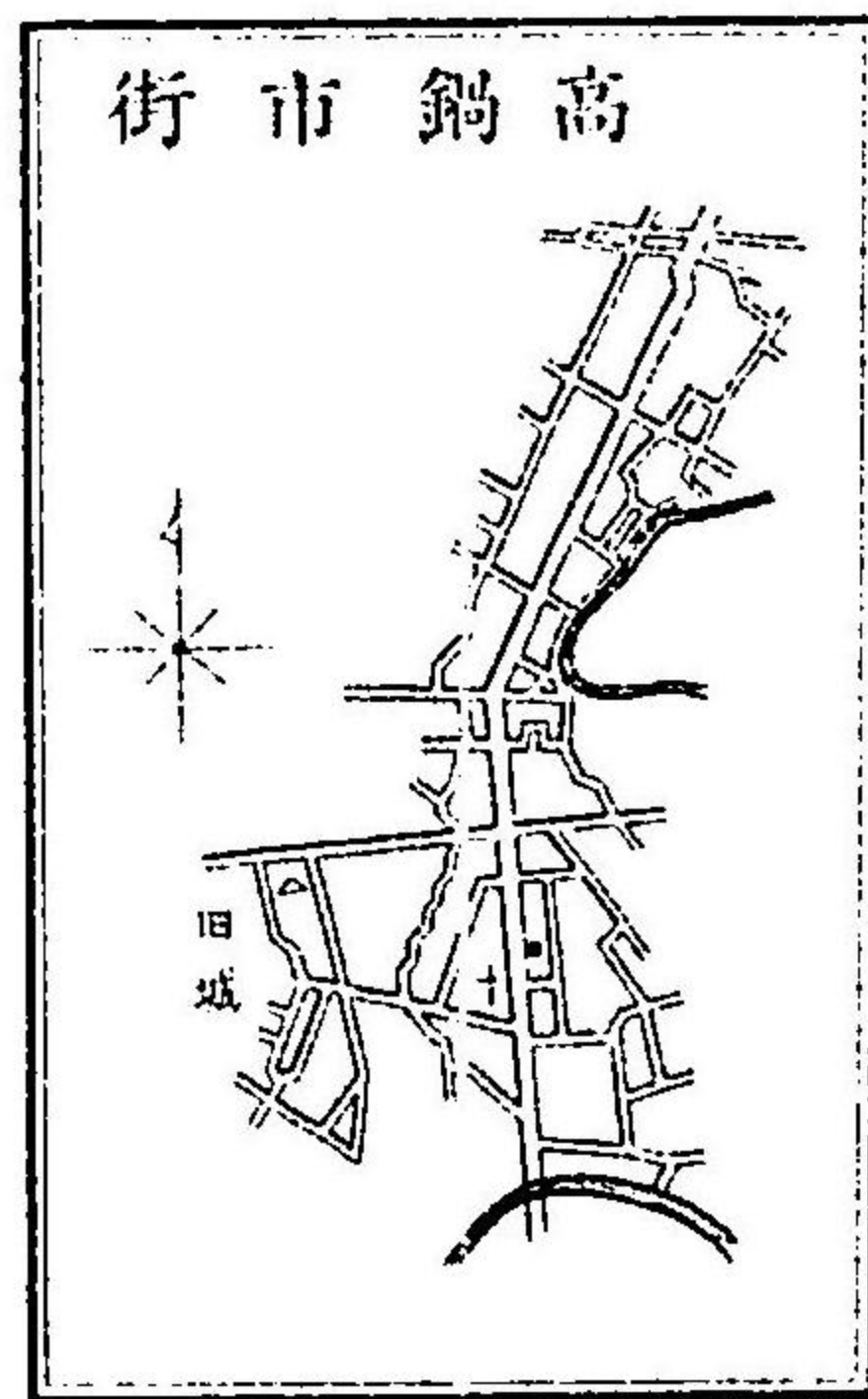
豊都市街



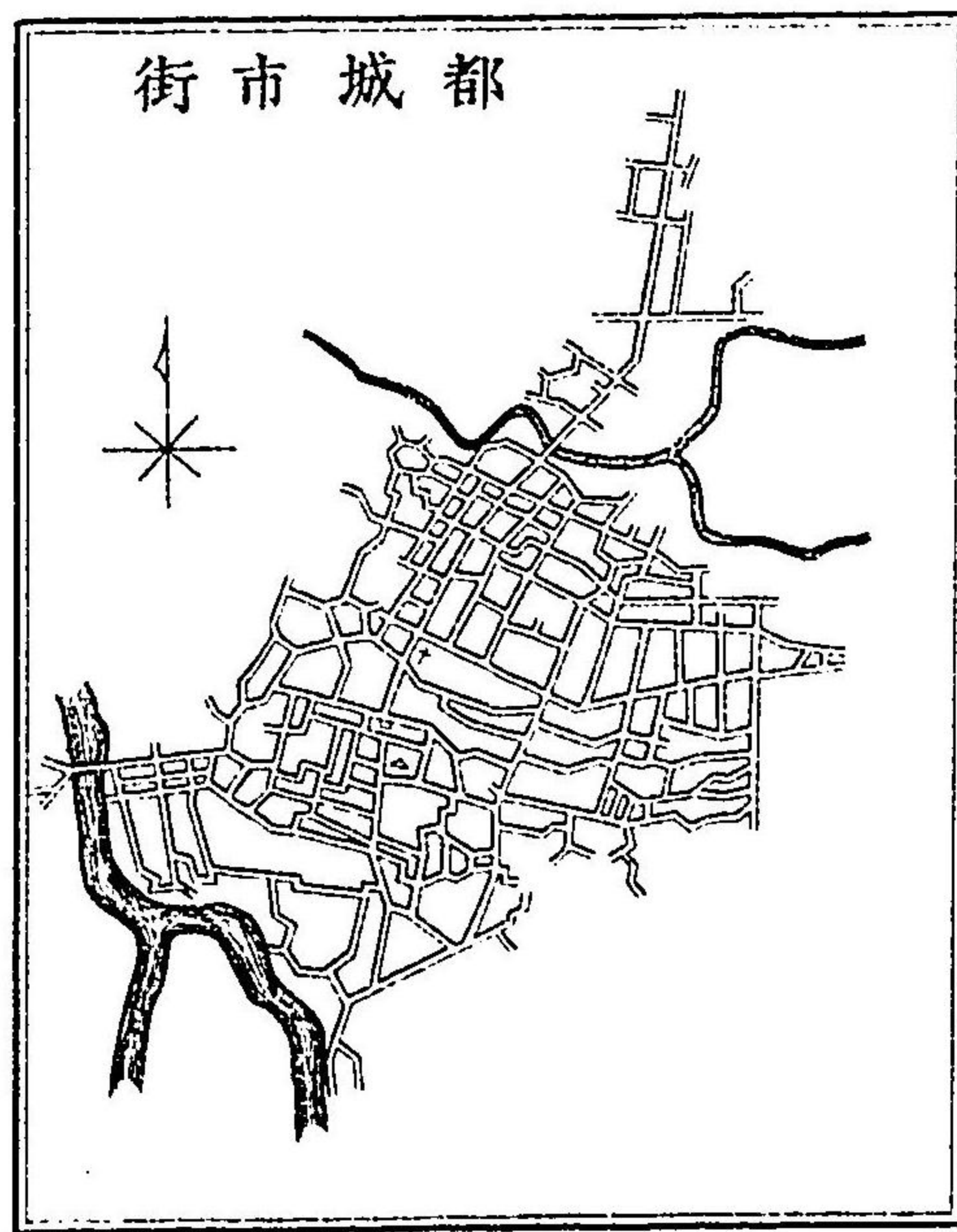
延岡市街



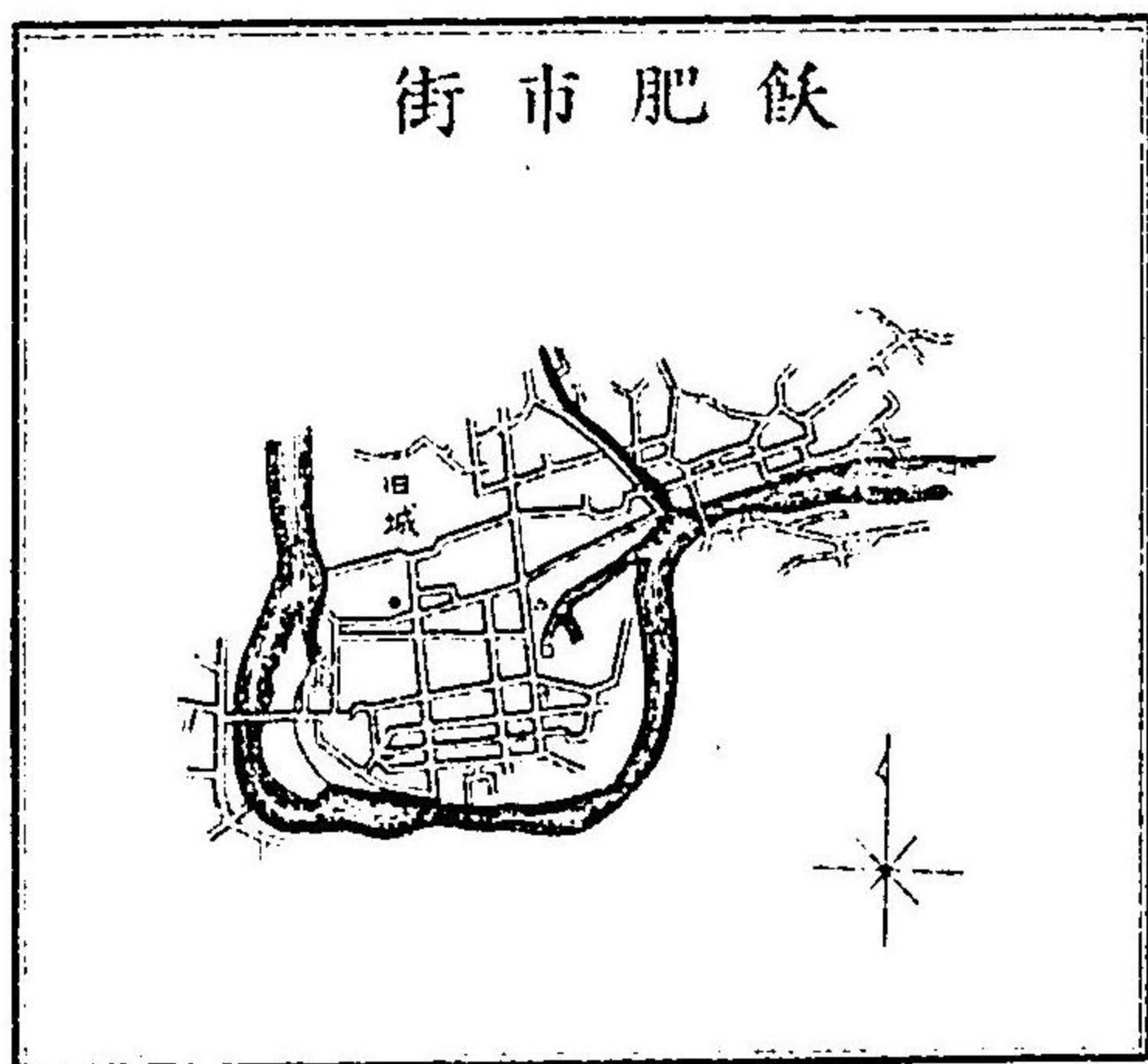
宮崎市街



高鍋市街



福岡市街



宇都宮市街

明治二十八年十一月十六日印刷
明治二十八年十一月廿五日發行
明治二十九年六月一日訂正



著者 日

吉昇

宮崎縣宮崎郡宮崎町大字
上別府村三百八番戶寄留

發行者

松井義雄

宮崎縣宮崎郡宮崎町大字
上野町百五十二番戶

印刷者

野村宗十郎

東京市京橋區築地一丁目二十番地

發賣所

修進堂書肆

宮崎縣宮崎郡宮崎町大字
上野町百五十二番戶

印刷所

株式會社 東京築地活版製造所

東京市京橋區築地二丁目十七番地

明治二十八年十一月十六日印刷
明治二十八年十一月廿五日發行
明治二十九年六月一日訂正



著者 日吉昇

宮崎縣宮崎郡宮崎町大字
上別府村三百八番戸寄留

發行者 松井義雄

宮崎縣宮崎郡宮崎町大字
上野町百五十二番戸

印刷者 野村宗十郎

東京市京橋區築地一丁目二十番地

發賣所 修進堂書肆

宮崎縣宮崎郡宮崎町大字
上野町百五十二番戸

印刷所 株式會社 東京築地活版製造所

東京市京橋區築地二丁目十七番地

